

特定非営利活動法人

VOL.63

南国暮らしの会

2015年 春季号



ミャンマー インレー湖の漁師
No.1631 飯島省蔵氏提供

平成27年5月9日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2015年 春季号)

目次

(敬称略)

平成27年度総会案内			
平成27年度(第18期)南国暮らしの会総会のご案内	No. 434	大野 悦子	1
平成26年度事業報告書	No. 434	大野 悦子	3
平成26年度収支計算書			9
平成26年度貸借対照表			10
平成26年度監査報告書			11
平成27年度事業計画書案			12
平成27年度会計収支予算書案			13
15周年記念行事			
15周年記念行事実施報告	No. 843	土井 研一	14
15周年記念事業 関西支部・九州支部交流会の報告	No.1634	長田 隆秀	15
南国暮らしの会15周年記念行事に参加して～参加された方から一言～	No. 581	朝永 清寿	18
15周年記念行事 チェンマイ支部	No.1041	中西 岩夫	21
南国暮らしの会15周年記念祝賀会報告	No.1261	藤本 晴久	22
南国写真サロン			
			23
ニュージーランド ゆったりゴルフステイ顛末記	No. 909	鈴木 通弘	25
台湾LS視察旅行について	No.1607	阿部 滋敏	27
タイ農民銀行について	No.1457	小野 耕一	33
マレーシア特集			
7年間のKL生活	No.1188	二瓶ケイ子	34
気ままにイポー(マレーシア)暮らし	No.1238	名塚 政幸	37
憧れのペナンロングステイ	No.1681	田端 勉	42
マレーシアジョホールバルの最新情報	No.1651	田中 節子	46
マレーシアでLS人生を満喫(リタイア後の目標設定は大切な?)	No.1020	松下 茂	49
マレーシアに家を買った	No.1660	北村 裕志	53
マレーシアお役立て情報			58
支部便り			
関東甲信越支部便り	No.1118	肥後 憲尚	62
東海支部便り	No. 843	土井 研一	62
関西支部便り	No. 173	平山 三雄	64
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	64
ペナン支部便り	No.1546	渡邊 照夫	65
ダバオ支部便り	No.1261	藤本 晴久	67
チェンマイ支部便り	No. 239	伊藤 寛	68
クアラルンプール支部便り	No.1682	守田 章	69
バギオ・パンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	70
ハワイ支部便り	No.1016	村林 修次	70
部会伝言板			
総務部会	No. 996	歌田 晃一	71
広報部会	No. 513	青木 方子	71
南国暮らしの会 支部一覧			71
友好団体紹介コーナー			72
編集後記			72

平成27年度（第18期）南国暮らしの会総会のご案内

理事長 大野 悦子

若葉の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、南国暮らしの会にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、通常総会を下記要領にて開催致しますので、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

表決権を有する会員は同封の葉書に出欠を記入しご返送願います。また欠席の方は同じ葉書下部記載の「平成27年度総会表決権行使委任状」に記入しご返送をお願い致します。

尚、今年度の総会表決権行使資格者は、本年3月31日迄に平成27年度会費を納入された継続会員の方（細則第13条4）です。ご承知おき下さい（葉書は議決権を有する方のみ同封しております）。

記

日 時：平成27年5月31日（日）午前10時～11時50分

場 所：東京都南部労政会館 第5・6会議室 JR大崎駅 南口徒歩3分 （案内地図2頁参照）

1、総会議題

*第1号議案：平成26年度事業報告及び活動会計報告・監査報告について

（会報春号3～11頁参照）

*第2号議案：理事退任、選任理事の信任について

①退任理事：No.513 青木方子 No.816 有元義晶

②新任理事：No.173 平山三雄 No.1640 川野俊次 No.1668 槇野昭一

*第3号議案：平成27年度事業計画案について

（会報春号12頁）

*第4号議案：平成27年度予算案について

（会報春号13頁参照）

*その他：新任理事紹介 No.173 平山三雄 No.1640 川野俊次 No.1668 槇野昭一

2、総会の議事進行について

総会開催に当たり、会員の皆様には各議案内容を本会報にて事前にご検討して頂き、ご出席出来ない方は同封葉書「平成27年度総会表決権行使委任状」を予めご提出頂くこととしております。（提出期限は5月28日必着。この期限を過ぎた委任状は失効しますのでご注意ください）。

当日ご出席の方は員数確認のため必ず10時迄に受付を済ませて入場して下さい。

受付係りも表決権者ですので10時にて受付を終了します。（遅刻されますと表決権は失効します）。

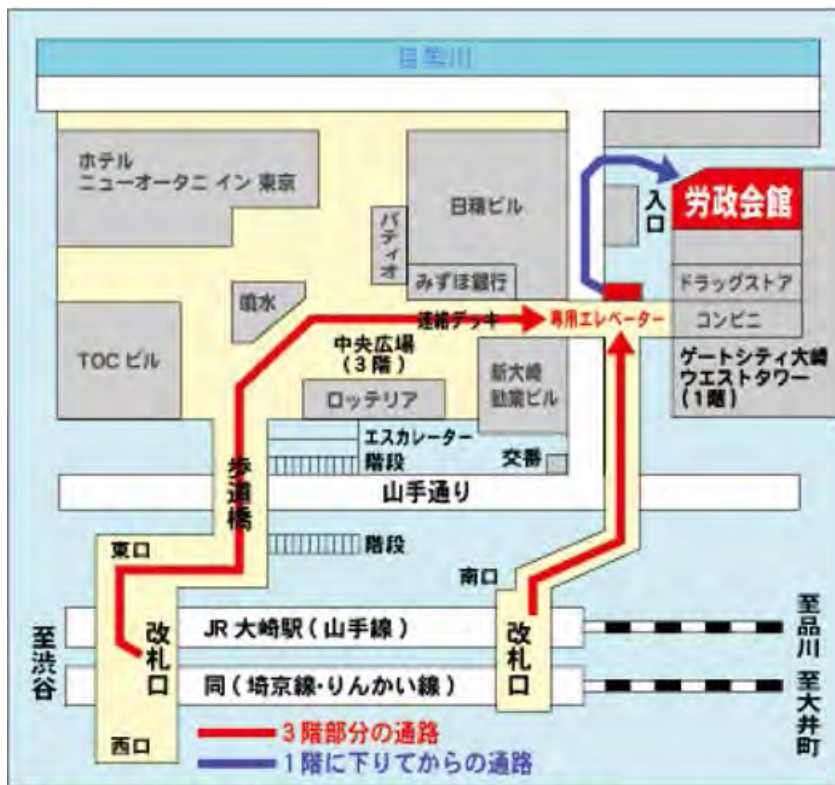
総会の議事は資料の詳細説明は極力省き、質疑応答から開始し効率よく進行を図りたいと思っておりますので皆様方のご協力をお願い申し上げます。従って当日は本会報（他に総会関連資料が同封された場合はその資料を含む）を必ずご持参下さい。

なお、議決権を有しない会員（4月以降に入会された新会員、会費納入が4月以降の継続会員及び家族会員の方は別の席：総会会場議長席に向かつて左側）に席を設けてありますので、そちらにご着席下さい。

※関東甲信越支部サロン会は、同日(5月31日) 13:00～ 同会場で開催されます。

・・・・・・・・総会会場（東京都南部労政会館）のご案内・・・・・・・・

東京都南部労政会館 案内地図



- JR大崎駅・南口より3分、東口より5分
 - 連絡デッキの専用エレベーターで1階に下りてください
- ☎：03-3495-4915

※2014年春季号(VOL.60)の1Pにある「平成26年度(第16期)南国暮らしの会総会のご案内」の16期は正しくは第17期でありお詫びして訂正致します。

平成 26 年度 事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会
理事長 大野 悦子

1. 事業の成果

1) 理事会

今年度は、理事の改選期に伴い、新しい理事が 12 名就任され、その内の半数が会員番号が 1500～1600 番台の方々となり、理事会も新旧交代がなされました。その新任理事と共に重任の理事や各部の委員の方々の協力により、会の運営や実務を遂行することが出来ました。

また、今年度は、NPO 法人認証 15 周年の記念の年に当たりました為、「15 周年記念行事委員会」を発足し、記念行事の推進に努めてまいりました。

2) 国内支部活動

各支部ともサロン会、情報交換会・「この指とまれ方式」の旅行会など活発な活動が行われました。平成 26 年 5 月 24 日（土）には、国内支部長及び役員会が開催され、各支部の活動報告や活動予定が報告され、意見交換も行われました。また、関東甲信越支部、東海支部、関西支部で支部長の交代があり関東甲信越支部長に NO.1118 肥後憲尚氏、東海支部長に NO.843 土井研一氏、関西支部長に NO.173 平山三雄氏が就任されました。

特に今年度は、15 周年記念行事が各支部で開催され、詳しくは「国内外支部活動報告」をご覧ください。

3) 海外支部活動

海外支部では、クアラルンプール支部が復活し支部長に NO.1682 守田章氏が就任され、また、マニラ支部、セブ支部、ペナン支部で支部長の交代があり、マニラ支部長に NO.999 中山恒夫氏、セブ支部長に NO.1124 田上篤氏、ペナン支部長に NO.1546 渡邊照夫氏が就任されました。

また、今年度は、15 周年記念行事が各支部で開催されました。詳しくは、「国内外支部活動報告」をご覧ください。なお、ハワイ支部は、今年の 6 月に記念行事を開催する予定です。

4) 広報活動

ホームページや、ロングステイ・フェア、ロングステイ関連図書や新聞社の取材協力等の広報活動を行いました。

- ①平成 26 年 5 月 24 日、25 日に関西支部が「関空旅博」に参加し、「南国暮らしの会」のブースを出展し、広報活動を行いました。
- ②平成 26 年 7 月 5 日に、北海道支部と本部との共催で「南国暮らしの会・説明会」が開催され、本部から歌田副理事長が参加し、「南国暮らしの会」の活動を説明致しました。
- ③NO.900 島林 健二氏がロングステイ財団の季刊誌「LONGSTAY 2014 夏号」に記事を投稿されました。
- ④マレーシア政府観光局、フィリピン政府観光省、タイ政府観光庁の事務所を訪問し、相互協力の要請をし、セミナーなどに講師を送るなどの協力を致しました。

- ⑤マレーシア政府観光局、「ゴルフ・ダイジェスト」社、ロングステイ財団の共同企画で「ロングステイ・ゴルフガイド（マレーシア編）」が発行され、それに「南国暮らしの会」の広報部も協力し、守田クアラルンプール支部長が取材協力致しました。
- ⑥平成26年11月29日（土）に、一般財団法人ロングステイ財団主催の日本最大のロングステイに関する情報イベントである「ロングステイ・フェア 2014」が、東京ビッグサイトに於いて開催され、「南国暮らしの会」は、NPO法人設立から15周年を迎え、この記念行事を兼ねて出展に参加しました。
- ⑦イカロス出版社から、「フィリピン・ロングステイ」本の改訂版作成の取材協力依頼があり、関係支部長に協力を頂きました。
- ⑧朝日新聞社から取材依頼があり、ペナン支部のNO.37 野一色信正氏、NO.330 横山豊氏、NO.1284 高木進氏に協力を頂きました。
- ⑨読売新聞社から取材依頼があり、バギオ・パンナシガン支部長のNO.227 斎木一氏に協力頂いております。

5) 会報

本年度は会報委員が大幅に入れ替わり、新しい体制でスタート致しました。春号、夏・秋号、新年号を発刊致しましたが、新年号では「15周年記念特集コーナー」を組み、関係機関や友好団体より「お祝い挨拶文」を掲載致しました。各支部会員の皆様から沢山の原稿、写真を頂き無事発刊出来、感謝申し上げます。

新年度も引き続き皆様のご協力を頂きながら楽しい会報作りに邁進してまいります。

6) 南国暮らしの会HP及び南国BBS（電子掲示板）

昨年の3月に「南国メーリングリスト（ML）」に代わって「南国BBS（掲示板）」がスタートしました。当初は、入室方法やスレッドの使い方などに戸惑われた方も散見されましたが、スタートからの11ヶ月間で月間、約4,900件（日平均160件）の閲覧があり、会員皆様の情報網として活用されていることが伺えます。今後も掲示板本体のみならず、各スレッドも大いに活用して頂いて楽しく有益な情報をどしどし発信して頂き、掲示板を有効にお使い頂きたいと思っております。

また、「南国暮らしの会HP」の充実を図ることにより見ていただける方が日増しに増え、通算24万アクセスを超えそうな勢いです。

7) 会員動向

今年度は、3年続けて「ロングステイ・フェア」に参加したことと、「南国暮らしの会HP」のアクセス数が大幅に増えとことにより、「新入会員」が大幅に増加しました。今後とも、会員へのサポートを充実し、継続会員の維持を図るとともに、広報活動を通じて新入会員の増加に努めてまいります。

2. 国内外支部活動報告

1) 北海道支部

- ①サロン会&懇親会・2回開催（6月、10月）、参加者52人
- ②女性サロン会・2回開催（8月、12月）、参加者11人
- ③支部役員会・3回開催（5月、8月、10月）
- ④南の会・札幌説明会の開催

南の会入会希望者、一般市民向けに7月開催、参加者67人

⑤その他

- ・「夏の避暑地北海道」にステイ、季節移住する会員への対応
- ・道新セミナー「いきいき福祉・健康フェア」の「海外ロングステイ」コーナーに参加（10月）

2) 東北支部

- ・情報交換会・・・2回開催
 - ① 6月 福島県飯坂温泉・・・参加者 4名
 - ② 9月 山形県湯野浜温泉・・・参加者 7名

3) 関東甲信越支部

- ①サロン会&懇親会（毎月開催.7月台風の為中止）・9回実施・参加総人数月平均45名
- ②支部役員会：2回実施（2月、5月）
支部役員打合せ会：7回実施（サロン会開催月）
- ③支部会員懇親活動
伊東温泉1泊懇親旅行、11月 参加会員18名
台湾ロングステイ視察旅行、11月 参加会員7名
湘南会 5月開催
- ④サークル活動
パソコン教室 毎月開催 ・ミニパソコン教室 4回開催テニス同好会 毎月開催

4) 東海支部

- ①定例会・11回（1月を除く毎月開催）：総参加総人数192名、
- ②懇親サロン会（定例会の後）・10回（総参加人数80名）
- ③平日サロン会（いこみゃー会）・第3月曜日実施（総参加人数105名）
- ④支部役員会・2回実施（12月・3月）
- ⑤ゴルフ会・2回実施（参加総数24名）
- ⑥その他：パソコン勉強会
- ⑦15周年記念行事・外部講師による講演会開催。
 - ・健康セミナー（栄口由香里さん）
 - ・ミャンマー紹介（タン・ゾー・トゥンさん）
 - ・台湾紹介（呉宛亭さん）

5) 関西支部

- ① サロン会（例会）&懇親会：4回開催・参加総人員180名（忘年会20名）を含む
- ②支部役員会：4回開催 参加総人員35名
- ③親睦行事等：5件7回開催・総参加人員102名
 - ・パソコン教室2回（総数31名）、・女性親睦会（関西ゆりの会）：1回（参加者11名）
 - ・金沢カニツアー：1回（参加者28名）・関西九州交流会：1回（参加者17名）
 - ・ゴルフ会：1回（総数15名）

6) 九州支部

- ①サロン会（例会）&懇親会：4回実施 参加総人数96名
- ② 支部役員会 4回（4月、10月、2月、3月）

- ③ 関西支部との交流会（忘年会） 11月山口 参加者17名
- ④ パソコン勉強会 3回（例会当日、開始前2時間程実施 参加総人数33名）
- ⑤その他
 - ・蕎麦打ちサロン会（5月福岡・参加者13名）
 - ・栗拾いゴルフ温泉サロン会（10月熊本・参加者25名）
 - ・阿蘇ゴルフサロン会（10月熊本・参加者12名）

7) マニラ支部

- ① サロン会、例会は、ロングステイ会員がいないため、実績なし。
- ②バギオ、ダバオの在住会員の訪問あり。近郊の案内及び懇親、情報交換を行う。
- ③8月15日、日本大使館主催の日比戦没者慰霊祭に参加し、フィリピン在住の他日本人グループと懇親・情報交換を行う。
- ④日本人経営の、老人介護施設の視察、訪問を行う。

8) バギオ・パンガシナン支部

- ①会員の滞在がなかったので、支部会やサロン会は開催しませんでした。
- ②会の創立15周年記念行事として、パンガシナン州ウルダネタ市とバギオ市で戦没者慰霊祭を挙行了しました。多数の参加がありました。
- ③同じく15周年記念行事として11月にバギオ市日系人会館で日系人奨学金受給学生250名に対して炊き出しを実施しました。大変好評でした。
- ④続けている学生支援、1名をウルダネタ市立大学教育学部高校英語教育学科1年に在学させています。本年5月にその学生を連れて一時帰国の予定です。
- ⑤2月のバギオ英霊追悼碑慰霊祭と8月15日のマニラ郊外カリラヤでも終戦の日慰霊祭には南国暮らしの会として参列しています。

9) セブ支部

- ①スターバックスでの朝ミーティング、情報交換会、発表会をアヤラ休館日以外は毎日開催
- ② 1月6日15周年記念行事開催
- ③来セブ会員のダイビング及び病院紹介、スマホ最新情報、リタイアメントビザ更新情報等ヘルプを実施。

10) チェンマイ支部

- ①サロン会&懇親会（8月・11月・12月）年間3回開催、 参加総人数172名
- ②ゴルフコンペ：2回（8月参加26名、2月参加46名）、総数72名参加
- ③定例ゴルフの実施：週3回のゴルフの運営（参加者多数）
- ④15周年記念行事 2月 ロングステイヤー21名参加で実施
本年度より、日本の各支部に窓口を設け、会員の方のチェンマイ訪問に対応させて頂いています。

11) ペナン支部

- ①支部総会実施（5月31日） 前年度活動報告、会計報告、役員就退任及び会員の入退会の承認、役員選出方法についての承認会則の変更、新役員就任
- ②サロン会3回実施（9月、11月、12月）、BBQパーティー2回実施（8月50名、2月50名参加）

- ③ペナン支部ゴルフコンペの実施 新たな試みとして実施（11名参加）
- ④「南の会」会員の来ペナン時の食事会の実施（3回6名）及び懇親と情報提供（会員の方は来ペの際には遠慮なくペナン支部員に声をお掛けください）
- ⑤15周年記念事業ペナン支部実施事項として「南の会」ロゴマーク入りのCAPおよびサンバイザーの作成・配布
- ⑥支部役員会 9回実施（原則月1回開催 第2土曜日開催）

12) ハワイ支部

- ①サロン会&懇親会 7回（4, 6, 7, 10, 11月）103名
 - ②ゴルフコンペ 1回 定例会 6回
 - ③BBQ Party 1回 48名（うち会員16名が参加）
 - ④ホノルルマラソン 4名参加
- その他 HOME Partyや食事会などを実施

13) ダバオ支部

- ①ダバオ支部総会 2回 4月 12月
- ②ダバオ支部サロン会 4月12名 9月17名（15周年記念） 12月9名（忘年会）
1月20名（新年会） 2月10名
- ③その他
 - ・アイランドホッピング4回 ・年忘れクルーズ1回6名 ・ミンダナオ国際大学
日本祭り1回5名 ・山の学校薬配布3回5名 ・温泉ツアー2回6名 ・バナナ
プランテーション見学10名 ・ゴルフ ・ダイビング ・釣り ・テニス他

14) ゴールドコースト支部

- ①来豪時案内、情報提供、携帯電話貸付(料金個人負担)4～5組
- ②会員夕食会3回等です 昨年はAUドル高い為か少なかった

15) KL支部

- ①設立総会実施（2014年8月11日）：支部活動指針、役員選出、2014年度活動計画・予算について原案通り決定した。
- ②サロン会開催（2014年8月、2015年1月）：今後支部総会後及び会報配布時に開催することとした。
- ③訪問会員対応：日本から12会員＋帯同者を迎えた。会食・コンド案内・ショッピングモール案内・ゴルフ同伴等可能な範囲で希望に沿った対応をした。
- ④グループメールの活用：会員相互でマレーシア国内の情報共有化を図るため、ペナン支部で運用中のグループメールに加入し両支部間の活動が判るようにした。

3. 会の管理に関する事項

1) 総会開催

日 時：平成26年5月25日(日) 10:00～11:30

場 所：港区立港勤労福祉会館 第1洋室

正会員数：494名

出席者数：305名（内、総会出席者36名、署名表現者269名）

2) 役員・支部長会議

日 時：平成26年5月24日(土) 13:00～16:30

場 所：品川第二区民集会場 第1会議室

出席者数：理事15名 支部長6名 相談役1名 監事2名の計24名

3) 理事会開催

			出席理事	委任状	出席監事
平成25年度	5月18日	第6回理事会	15名	2名	2名
平成26年度	6月14日	第1回理事会	12名	7名	1名
平成26年度	8月14日	第2回理事会	15名	4名	2名
平成26年度	11月22日	第3回理事会	15名	2名	1名
平成26年度	3月14日	第4回理事会	16名	1名	1名
平成26年度	4月11日	第5回理事会	14名	3名	2名

4) 法務局変更登記・東京都庁申請 平成26年6月23日

・理事退任(11名)

No.489 加藤久子、No.750 小松勝正、No.755 岩井文哉、No.840 岩田彬、
No.1017 光城保之、No.1068 山科滋雄、No.1156 宇田秀樹、No.1161 永島和雄、
No.1178 長谷川愈晃、No.1230 吉野正博、No.1361 木村秀男

・重任理事(7名)

No.434 大野悦子、No.513 青木方子、No.816 有元義晶、No.996 歌田晃一、
No.1108 山田美弥子、No.1309 青木一義、No.1388 寺田光江

・新任理事(11名)

No.843 土井研一、No.1207 宮原正宇、No.1208 澁谷幸一、No.1244 金井修二、
No.1533 森川文枝、No.1537 鈴木元恵、No.1578 山本雅巳、No.1581 黒川敏彦、
No.1591 肥後信彦、No.1607 阿部滋敏、No.1612 堀江健夫

・監事退任(2名) No.1125 佐々木一信、No.1256 大塚眞一

・重任監事(1名) No.712 高田勝弘

・新任監事(2名) No.750 小松勝正、No.1068 山科滋雄

4. 会員動向

平成25年度から平成26年度継続会員数：545名

平成26年度新規会員数：74名

平成26年度再入会員数：1名

平成26年度退会者数：17名

平成26年度休会者数：1名

平成26年度期末の会員数：602名

平成26年度賛助会員数(個人)：1名でした。

また、平成27年3月31日までに平成27年度会費を納入された継続会員は464名
で会則により平成27年度の総会表決権者数は464名となります。

平成26年度 特定非営利活動に係る事業の会計 収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科目	予算額 (A)	実績 (B)	差額 (B-A)	摘要
I 収入の部				
(1) 入会金収入	325,000	375,000	50,000	75名
(2) 会費収入	3,125,000	3,085,000	△ 40,000	継続会員542名、新入会員75名
(3) 資料売収入	60,000	85,000	25,000	85件
(4) 寄付金収入	0	0	0	
(5) 基本金等利息収入	100	6,038	5,938	
(6) 雑収入	0	0	0	
(7) 前期繰越金より繰入	600,000	600,000	0	15周年記念事業、期中追加10万円
1. 当期収入合計	4,110,100	4,151,038	40,938	
II 支出の部				
(1) 事業費	3,250,000	3,186,863	△ 63,137	
① 会報等事業費	1,190,000	1,159,632	△ 30,368	年3回発行
② 会報等送料費	360,000	289,580	△ 70,420	年3回発行
③ 資料等製作事業費	125,000	94,165	△ 30,835	
④ 報告書等製作事業費	150,000	126,100	△ 23,900	会員名簿製作
⑤ 案内書製作事業費	0	0	0	
⑥ 広報活動事業費	215,000	277,386	62,386	LSフェア、15周年事業費振替分を含む
⑦ 講師等謝礼費	0	0	0	
⑧ 支部関係事業費	610,000	640,000	30,000	クアラルンプール支部追加
⑨ 社会貢献事業費	0	0	0	
⑩ NPO認証15周年事業費	600,000	600,000	0	期中予算追加10万円含む
(2) 管理費	781,000	899,107	118,107	
① 事務用品費	15,000	10,369	△ 4,631	
② 旅費・交通費	570,000	708,228	138,228	
③ 通信運搬費	75,000	80,374	5,374	携帯電話使用料、総会委任状等
④ 雑費	80,000	59,336	△ 20,664	会議室使用料、振込手数料等
⑤ 支払い使用料	41,000	40,800	△ 200	事務所使用料、インターネット経理使用料
(3) 予備費	150,000	143,692	△ 6,308	期中予算追加10万円含む
2. 当期支出合計	4,181,000	4,229,662	48,662	(1) + (2) + (3)
III 当期収支差額 (1 - 2)	△ 70,900	△ 78,624	△ 7,724	
(1) 前期繰越金	1,936,127	1,936,127	0	
(2) 事業拡張準備金へ繰入	0	0	0	
次期繰越収支差額(III+1-2)	1,865,227	1,857,503	△ 7,724	

上記監査の結果、いずれも正確であることを認めます。

平成27年4月11日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事	高田 勝弘	印
監事	小松 勝正	印
監事	山科 滋雄	印

平成26年度 特定非営利活動に係る事業の会計 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

特定非営利活動法人南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	金 額		
1. 資産の部			
(1) 流動資産			
現金	8,958		
普通預金	399		
郵便貯金	1,604,406		
郵便振替口座	3,819,658		
定額貯金	1,300,000		
流動資産合計		<u>6,733,421</u>	
資産合計			<u>6,733,421</u>
2. 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	5,918		
前受金	2,470,000		
預かり金	0		
流動負債合計		<u>2,475,918</u>	
3. 正味財産の部			
基本金		300,000	
事業拡張準備金		2,100,000	
次期繰越金		1,857,503	
正味財産合計		<u>4,257,503</u>	
負債及び正味財産合計			<u>6,733,421</u>

上記監査の結果、いずれも正確であることを認めます。

平成27年4月11日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 高田 勝弘 印

監事 小松 勝正 印

監事 山科 滋雄 印

特定非営利活動法人 南国暮らしの会
理事長 大野 悦子 殿

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人南国暮らしの会の平成26年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)における監事監査に関し、監査の方法及びその結果について協議し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監事の監査方法の概要

監事会は予め定めた監査の方針等に従い、理事会その他重要会議に出席し、理事会の運営、理事の業務執行、事業活動及び財産の状況を調査し、必要に応じて理事等から報告を求めました。

2. 監査の結果

- ① 事業報告書・役員名簿・社員名簿は、法令及び定款に従い、法人の活動状況を適格かつ適正に示している事を確認しました。
- ② 計算書類(収支計算書・貸借対照表・財産目録)は、記載すべき事項を正しく示しており、正確かつ適正であることを確認しました。指摘すべき事項は認められません。
- ③ 理事その他役員の職務遂行に関する不正行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成27年4月11日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

監事 高田 勝弘 印

監事 小松 勝正 印

監事 山科 滋雄 印

平成27年度事業計画書(案)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 事業の方針

会として、現在の運営方法、頻度、コスト対効果等を全体的に見直検討する。

- 【総務部会】・会の運営がスムーズに進むよう、理事会を中心によく議論し効率よく計画的に推進する。
 - [経理] ・予算の策定・遂行状況管理を通じて、会の健全な財政基盤作りに貢献する。
 - [必携] ・会の運営の骨格となる『必携』や『細則』、各種ルールなどを見直すとともに会員に周知する。
- 【会報部会】・会員にとって魅力的で有意義な記事を会員からの投稿をいただく中で掲載する。
 - ・会報を年3回発行する。(新年号、春季号、夏・秋号)
- 【広報部会】・会の魅力的な活動等をマスコミなどを通してPRし、会の知名度と存在価値をアップする。
 - ・ロングステイフェアに出展し、会の魅力的な活動をPRするとともに新規会員を増やす。
 - ・友好団体との交流を深め情報交換をする中で、お互いの会の発展を図る。
- 【ネット部会】・会員間の有意義な情報を密にとるために『南国BBS』の更なる普及啓蒙を目指す。
 - [HP] ・会の魅力的な活動や会員申込方法を対外部へHPを通じて広くPRし認知度と新規会員を増やす。
- 【会員部会】・新規会員への資料発送や各種会員管理を行い、定期的に『会員名簿』を会員に発行する。
- 【支部推進部会】・国内外支部と連携を深め活性化を更に推進し、会員のための会運営を推進する。
 - ・各支部のサロン会や情報交換会、講演会等を通じて会員相互の情報交換と親睦を深める。
 - ・同好会やパソコン教室等を開催し、ロングステイに必要な技量アップや会員相互の親睦を深める。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時	実施内容	備考
1、リタイア後、南の国々での居住推進活動	情報交換し、ロングステイを楽しむ	随時	国内外支部	広報部会、会員部会 各支部
2、高齢者、障害者等の為の介護・療養に関する情報収集、調査研究活動	対外情報の一括管理	常時	HPの運用	広報部会 HP委員会
3、体験滞在、旅行会	国内外支部、定例サロン会	常時	国内支部実施 国外支部実施	国内外支部定例実施 会報部会、会員部会 広報部会
4、南の国々の風俗、習慣、国民性生活環境等情報収集、調査研究活動	国内外の情報の一括管理、提供し、HPの適時更新・運営の実施	常時	HPの活用 BBSの適正運用	HP委員会 ネット委員会
5、南の国々の暮らしに関する講演会、講習会、研究会等を主催する。	国内外支部定例サロン会、総会開催時に講師を招き実施する。	定例化	国内支部随時 総会開催時	国内6支部、国外各支部にて開催し、年1回総会開催時実施
6、南の国々の暮らしに関して内外の学校・研究所・医療機関等の団体と連絡・協力し、資料・情報の交換を行う。	友好団体と交流し、情報交換を理事各位で図り、その情報開示を定例理事会で確認を行う。	友好団体とは、随時 理事会は、 定例会	同業団体 政府観光協会	国内外各支部長 担当部会 各理事
7、会報、案内書、報告書等を作成し、配布する。	会報発行(新年号、春季号、夏・秋季号)。年3回継続発行「入会へのお誘い」の発行	定例化	会報部会 会員部会	全会員へ配布 新入会員、入会希望者への送付
8、関連事業、及び関連する事業の情報収集、保管、開示広報活動	HPで閲覧推進 「南国BBS」活用推進	随時	随時閲覧可能	会報委員会 ネット委員会 HP委員会

3. 収益事業:なし

平成27年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書案

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差異 (B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1) 入会金収入	325,000	375,000	50,000	入会金：5,000円、想定新規入会者数75名 (前年度実績75名)
2) 会費収入	3,125,000	3,085,000	△ 40,000	想定継続会員数542名 新規入会75名想定、前年度実績どおり
3) 資料売収入	60,000	85,000	25,000	85名想定、前年度実績どおり
4) 寄付金収入	0	0	0	
5) 基本金等利息収入	100	5,000	4,900	
6) 雑収入	0	0	0	
7) 前期繰越金より繰入	600,000	0	▲ 600,000	
1. 当期収入合計	4,110,100	3,550,000	△ 560,100	
2. 前期繰越	1,936,127	1,857,503	▲ 78,624	前年、当年度決算での繰越額
3. 収入合計	6,046,227	5,407,503	▲ 638,724	1. + 2.
II. 支出の部				
1) 事業費	3,250,000	3,040,000	△ 210,000	
①会報等事業費	1,190,000	1,190,000	0	年3回発行会報制作費、会報委員会
②会報等送料費	360,000	505,000	145,000	メール便、海外送料費、発送作業
③資料等製作事業費	125,000	160,000	35,000	入会者向け資料、会員証、送料代等
④報告書等製作事業費	150,000	150,000	0	会員名簿
⑤案内書製作事業費	0	0	0	
⑥広報活動事業費	215,000	395,000	180,000	LS財団会費、LSフェア、プロバイダー
⑦講師等謝礼費	0	0	0	支部関係事業費に含む
⑧支部関係事業費	610,000	640,000	30,000	クアラルンプール支部追加
⑨社会貢献事業費	0	0	0	
⑩NPO認証15周年事業費	600,000	0	△ 600,000	
2) 管理費	781,000	866,000	85,000	
①事務用品費	15,000	0	△ 15,000	雑費に含める
②旅費・交通費	570,000	670,000	100,000	理事会、支部長会旅費、その他行動費
③通信運搬費	75,000	75,000	0	南の会携帯電話、総会委任状
④雑費	80,000	80,000	0	理事会会場費・資料コピー・事務用品
⑤支払使用料	41,000	41,000	0	ネット会計、事務所使用料など
3) 予備費	150,000	100,000	△ 50,000	
4. 当期支出合計	4,181,000	4,006,000	△ 175,000	1) + 2) + 3)
5. 当期収支差額	▲ 70,900	▲ 456,000	△ 385,100	1. - 4.
6. 次期繰越収支差額	1,865,227	1,401,503	▲ 463,724	3. - 4.

(注) 収入に見合った支出となるよう、活動内容の見直しを進める。

15周年記念行事

15周年記念行事実施報告

東海支部 No.843 支部長 土井 研一

東海支部では、15周年記念行事として外部講師を招いて講演会を開きました。

テーマは、3つで、11月と12月に分けてウエル愛知で実施しました。

- ・健康寿命を延ばし楽しく海外でロングステイする為の「健康セミナー」
- ・アジア最後のフロンティアと呼ばれる「ミャンマーの紹介」
- ・2015年3月に約20人が訪問する「台湾の紹介」

記念行事終了後、近くのレストランで反省会を開催しました。

1. 健康セミナー

講師は「あいち健康の森・健康科学総合センター」の保健師 栄口由香里さん。

タイトルは、これからの健康作り“「健康な65歳」から「自立で活動的な85歳」へ”。

講師からは、健康で心豊かに生き生きと過ご



写真は転倒予防の体操を紹介する講師



写真はミャンマーの民族衣装を紹介する講師

す為に、「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」など生活習慣全般にわたる講話がありました。

最後は実技指導で、転倒予防に必要な筋肉を鍛える体操の紹介でイスを使った方法など指導があり、全員で体操しました。

出席者からは時間をオーバーして、日ごろの暮らしで疑問に思っている質問が多くありました。

2. ミャンマー紹介

講師は名古屋市在住でミャンマー出身のタン・ゾー・トゥンさん。

「ミャンマーという国」というタイトルで、ミャンマーの基本情報、衣食住、歴史・文化・伝統、生活習慣、観光名所など生活者の視点からの紹介がありました。

話題は女性の民族衣装、お化粧法、バガン遺跡、インレー湖やマンダレー観光まで多岐にわたりオブザーバーからも多くの質問があり、仏教国で親日的との印象でした。

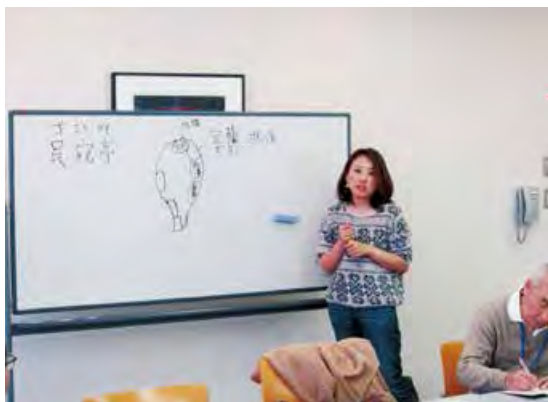
3. 台湾紹介

講師は名古屋市在住で台湾・宜蘭市出身の呉 宛亭さん。

台湾の衣食住、生活習慣、伝統文化、観光スポットなど若い女性の視点で紹介され、出席

者からは体験談も交えて活発な質疑応答がありました。

祖父が戦前の尋常小学校教育を受けた話もあり、親近感が増しました。



写真は出身地の宜蘭市を紹介する講師

15周年記念事業 関西支部・九州支部 交流会の報告

関西支部 実行委員会 No.1634 長田 隆秀

- 1、実施期日 平成26年11月30日～12月1日
- 2、場 所 山口県秋吉台国際芸術村
- 3、参加者 関西支部17名 九州支部17名
- 4、経 過

2013年12月のサロン会で九州支部との交流会が提案され、九州支部に打診した所、支部長より快諾が得られ、5月の支部総会時に有元・朝永支部長が大まかな打ち合わせを実施し、7月頃より両支部による会場の選定を始めました。

8月に入り、朝永支部長より山口県秋吉台国際芸術村が素晴らしい施設で宿泊も出来るとの連絡があり、交渉は全て九州支部長にお願いしました。

両支部とも場所の認定をし、9月頃から参加を呼び込みました。

九州支部では、早々と17名参加との知らせがありました。関西支部ではまだ数名のみの参加表明しかありませんでした。

10月例会で、再度参加者を募ると17名が参加表明されました。

この後、講演・食事・宴会・演芸出し物等をメールとスカイプで打ち合わせ、スケジュールなどの最終案が纏まったのは11月下旬でした。合言葉は「とにかく楽しく・賑やかに・仲良くやろう」でした。

5、交流会当日

九州組は全て自家用車で、関西支部は新幹線組と自家用車4台に分けて参集。中国道・山陽道を乗り継ぎ、昼食を入れ7時間30分掛かりました。

開始時刻は、15時でしたが、14時30分とギリギリ滑り込み。実施できるのかとご心配をおかけしました。会場準備などは、全て九州支部の皆さんにして頂き、10数分遅れで交流会が開始。

6、交流会内容

司会—関西支部 丸山百合子さん

九州支部 田中節子さん

歯切れのいい名司会ぶりでした。

- ①会挨拶……自称15周年記念事業実行委員
委員長 関西支部 有元義晶さん
- ②支部長挨拶……関西支部長 平山三雄さん
九州支部長 朝永清寿さん





そば打ち



講習



フォークダンス

③「ロングステイ人気の国 台湾の魅力とお誘い旅行」の講演

……591 関西支部 神原克收さん
色々質問も出て、お誘い旅行に興味津々でした。

④そば打ち体験と試食会

……652 九州支部 深松幸康さん
二八そばで香りと腰があり大人気でした。

⑤懇親会開始の乾杯

……No.3 九州支部 池田徳三郎さん
なんてったて元気な初代理事長です。

⑥オープニングメッセージとピアノ演奏

……No.434 大野悦子 理事長
ピアノ教師だけあって上手いものです。

⑦食事の後、宴会開始 出し物は

肥後ちゃんがけ独楽(熊本県無形文化財)
……朝永支部長

ベートーベン第9合唱

……関西支部 徳永卓夫さん・
平山三雄さん・有元さん

南国仲間の歌

……九州支部の応援歌を全員で歌う。

尺八演奏……関西支部 平山三雄さん

ギター演奏……九州支部 朝永清寿さん

フラダンス……関西支部 美女軍団

長生きサンバ……九州支部 美女軍団

手品……関西支部 長田隆秀さん

黒田節・炭坑節・河内音頭など入り乱れて
全員で楽しく合唱。

最後に、社交ダンス……オクラホマミクサー



フラダンス

コロプチカ建物の構造上、声が拡散し、うまく伝わらない欠点がありましたが、そこは芸達者ばかりで、次から次へと即興にて歌あり、踊りあり、ダンスありと大盛り上がりでした。

気温9℃の小雨の中でも、熱気に包まれ、2次会へと別棟に移動、ここでも時間を忘れ懇談と自己紹介などし、次の再開を約束し23:30頃解散となりました。

翌日、8時より朝食、集合写真の後、解散両支部の有志19名が、山口県在住の山根さんの案内で秋芳洞見学、小中学校以来の訪問という方が多く、約1キロもの奇岩を堪能後、昼頃に別れを惜しみつつの解散でした

九州支部の皆さん本当に有難うございました。

この動画は、九州支部長 朝永さんがHPのBBSに「関西・九州支部交流会」に掲載されていますので、ご覧ください。

関西支部会員からの一口コメントです。

1、九州支部の活況を実感しました、この活力

があれば健康年齢を5歳、10歳引き延ばすことも可能でしょう。

関西支部も負けずに貧欲に楽しみ、健康年齢延長に取り組みましょう。

九州支部の皆さんありがとうございました。

591番 神原克收

2、流石に大阪から車での山口県秋吉台は遠かったですが、九州支部の皆さんのお陰で交流会会場の準備を整えて頂き、感謝、感謝です。

交流会では思いがけず池田徳三郎様にお会いできびっくり。この機会に南の会の発足当時の経緯や「冒険ダン吉」竹内さんと袂を分かち結果になったお話など興味深くお聞きしました。また、両支部の芸達者な方々による、かくし芸に感心しつつ大いに楽しませて頂きました。楽しく実りある交流会になりました、参加された皆さん有難うございました。又やりましょう…。

501番 大川泰永

3、車に便乗させて頂き、道中のサービスエリアのご当地グルメや景色を楽しみながらの旅でした。

余興では、初めてのフラダンスと言う事で少々慌てましたが、徳永美智子さまの特訓で何とか演じ切る事が出来ました。

ハワイアの素敵な衣装と花のレイを身に纏い気分はすっかりハワイでした。

九州支部の皆様には準備などお世話頂き感謝しています。ありがとうございました。

1428番 呑野佳子

4、交流会では役員各位様には大変お世話になりました。

皆様とお会い致し2日間が、あっという間に時間が過ぎるのを忘れて、楽しませて頂き、両支部の演出も色々と趣向を凝らして頂き家内共々、良い思い出になりました。

又、二次会のセッティングでは、九州支部の方々との親睦を諮らせて頂き、4年ぶりの再会で、お話が弾み楽しませて頂き、有難う御

座いました。

最後になりましたが、関西支部の到着が遅くなりお手伝いできなく何から何まで、お世話になり申し訳なく思っております。

朝永支部長様、役員各位様有難う御座いました。

1487番 片山忠清・幸子

5、当日は、夜中の12時に滋賀県大津市を車で出発し、途中数回休憩して7時30分頃に会場の秋吉台国際芸術村に到着しました。

チェックインを済ませてから少し仮眠し、九州支部との交流会に参加しました。

初めての交流会を楽しみにしていましたが、出席された皆様方は生き生きと年齢も忘れてダンスやかくし芸を楽しんでおり、私も50年ぶりにフォークダンスを楽しみました。

このような交流会を是非続けて行ってほしいと思いますし、次回参加する時は何か一つかくし芸を準備して披露したいと考えております。今回の九州支部と関西支部の交流会を企画して実行された皆様方に心より御礼申し上げます。

1698番 中野隆光

6、「楽しかった学芸会」

当日は生憎の雨模様野中、九州支部の皆様が用意して頂いた「秋吉台国際芸術村」に開催15分前に到着した。会場に入った途端に感じたのは、この建物は安藤忠雄先生作か？であった(帰宅後、磯崎新先生と判明)。コンクリート打ちっ放しの天井の高いホールは本当に素晴らしかった。

それにも増して、会場の設営から部屋割りに至るまで、何から何まで九州支部の皆様にお世話になり、感謝感激であった。大宴会は、本来得意とするはずの関西人(大阪人)も顔負けの九州支部の皆様の芸達者振りにはホトホト感心しました。

抜群に美味しかった、深松さんの手打ち蕎麦(また、食べた〜い)

カラオケを壊しはしないかと、ハラハラドキドキしながら見せて頂いた朝永支部長の肥後

ちょんがけ独楽の妙技。老老男女が全員参加で半世紀以上前を懐かしんで踊ったフォークダンス等々。学芸会さながらの大宴会は、南の会15周年にふさわしい素晴らしい催しであったと思う。

最後に、大宴会がスムーズに進行するために、事前にフォークダンスなどの動画までメールを送信下さった九州支部のおもてなし上手には感服いたしました。

本当にありがとうございました。

1532番 平山謙祐・佳代子

九州支部の皆さんとの交流会は最高でした。芸達者な九州支部の皆さんに負けてはならないと頑張った我が関西支部のお仲間の底力にも驚きました。

また機会があればと思っております。

**南国暮らしの会15周年記念行事に参加して
～参加された方から一言～**

九州支部 No.581 朝永 清寿

南国暮らしの会創立15周年を記念して、11月30日～12月1日、関西支部と九州支部との交流サロン会を山口県「秋吉台国際芸術村」において盛大に開催しました。

食べて飲んで、歌って踊っただけでなく、南の会ならではの正統派プログラムもきちんと消化した後、休憩を挟んでの第二部では、大野理事長からの、オープニングメッセージとピアノ演奏が大音響とともに流され、さらに軽快な音楽が流れだすと、一気にテンションアップ、歌え踊れの大混乱となりました。

九州支部ではこの時の感想を寄せ書きとして会報に投稿することにしました。

1479 光井不由人

深松さんの蕎麦に舌鼓を打ち、スカイプを利用して理事長大野さんが弾かれるピアノの生演奏が流れると、ワイン片手に食べる晚餐はとて

もゴージャスなものになりました。

関西支部の方の尺八演奏にも唸りました。楽しいひと時でした。

1624 松井 敬

私は九州支部の会合にも参加したことのない、まったくの新人でしたので、交流会ではウロウロするだけでした。ただ、北九州から参加した池田会長以下2名の方と一緒に行動できたことが大収穫でした。車中での話や、一泊しての各人の癖などもわかり親交が深まりました。朝永さんら福岡の方も顔と名前がはっきり分かるまでになったのが良かったですね。

更に、関西支部が勧めておられます「台湾のロングステイ」は大変興味がわきました。奥方と一緒に行ってみたいと唯今検討中です。今後ともよろしく願いいたします。では、またお会い出来ることを楽しみにしています。

1602 片田 勉

15周年記念行事の2次会の席で実行委員長の有元義晶氏と隣席して飲みました。この交流会がとっても楽しかったので「遠いけど有志に成ると思いますが、今度は温泉のある熊本の阿蘇温泉で、もっと懇親を深めたいですね」と提案したら喜んで賛同得ました。次が楽しみです。

3 池田徳三郎

秋吉台の合同サロン会は本当に素晴らしかった！楽しかった！その素晴らしさ、朝永さんのホームページで見てくださいね！

1629 春日井愛子

関西と九州が合同で企画ということで、お世話された役員の方々、大変だったことと思います。会は山の中の素敵なロケーションで行われました。企画はもりだくさん、種類も色々で、楽しい時間を過ごすことができました。

宿も素敵で変わっていて、このような所を見つけて頂いたことに感謝です。翌日は冬の日本

海の荒波も目にすることができました。参加の皆さま方、ありがとうございました。

1651 田中節子



南の会の仲間になって1年半で迎えた「15周年支部交流会」。初めての事であり最初はちょっと臆しましたが、司会も頼まれ引くに引けず参加することにしました。

九州支部長朝永さんの「是非成功させたい！」との心意気が参加者に伝わり、全員で何とか盛り上げようというムードも盛り上がりました。

男性軍は設営に力を傾け、女性軍はネットを通しての踊りの練習。

関西支部の方々とは初お目見えでしたが、会が進行するにつれ互いにノリがいいのが伝わり、わきあいあいから賑やかに交流会が進みました。

両支部力を合わせて成功に導けたと思います。開催の舞台の秋吉台芸術村も静かな森の中で宿泊するにも最適で気持ちよく会を終了できました。

この交流会のためにご尽力いただいたみなさんに心から感謝申し上げます。

581 朝永清寿



メインイベントの蕎麦打ちは名人の深松さん

が取り仕切るから安心して任せられる。

頭を悩ませたものは、食事をしながらの「演芸会」。今回の参加者には、例年実施している「栗拾い温泉三昧」で大活躍の芸達者がいない。九州支部は寂しいなー、さてどうしよう。まず自分が率先して恥をかくことにして、下手な「独楽回し」と更に下手な「ギター伴奏」を考えた。

酒が入ったら独楽は回せないと我がままでトップを切って登場。少しくらいミスしても問題ないが、やっぱりコマを落としてしまって残念。

そして問題のギター伴奏。曲は皆さんが若い頃歌って誰でも知っている「恋の季節」。カラオケをyoutubeからダウンロードして、プロジェクターの歌詞を見ながら歌って頂こうと事前準備(練習)。

本番ではなんと、ピンキーもキラーズもびっくりする程の振りと熱唱。御婦人方の強烈なパワーで、私のギターはかげも形もなくなっていた。事前に歌や振りの稽古をされていた模様。心配することはなかったのかなー。これはほんの一部。事前準備から当日まで、いろんなことがあったが、理事長始め皆さんから協力していただいて、思い出多いイベントになった。

652 深松幸康



九州支部の出し物の一環として蕎麦打ちデモンストレーション及び打ち立て、茹でたての蕎麦を試食していただく役目を引き受け参加しました。

出発前に20人前打って持参、会場にてデモンストレーションで10人前を打ち合計30人前用意しました。問題はこの蕎麦をいかに美味しく湯

がくかでした。

蕎麦を打つのはテーブルさえあれば何処でも出来ますが茹でたての蕎麦を美味しく食べて頂くには強い火力のコンロと大きな鍋が必要です。当初卓上コンロしか準備できないという事で大変心配でした。しかし会場、レストランの御協力で厨房をお借りする事が出来て本当に助かりました。九州支部参加者全員のお手伝いもあって関西支部の皆様を試食して頂き何とか責任を果たせた思いがあります。懇親会の料理を前にしての試食でしたし盛りを少なくしたので蕎麦が予想以上残りました。残った蕎麦はご協力頂いた会場と厨房のスタッフにもお礼を兼ねて提供しました。後日参加者の方からお礼のメッセージがあり喜んで頂けた事を実感しましたし、お役に立てて良かったと思っています。

今回の交流会に参加して懇親会や二次会を通じ楽しい交流が図れたと思います。

581 朝永美代子



今回九州支部エリアでの開催だったので及ばずながら連絡担当をさせていただきました。そこで裏話を少し。

企画段階での話し合いで、遠路から集まる記念行事のため、単に飲食するだけの懇親会では物足りない、何か目玉のものをと考えながら、いくつか候補を上げましたが、最終的に国際芸術村で楽しむこととなりました。

ここはプロの芸術家の方々が発表する場としても使われているなど、施設的にも優れた環境で、当初は50人以上の参加を見込み、ホールを使用して華々しくと、早くから会場を押さえま

した。

しかし、参加者を募っていくうちにだんだんと広い会場は不要かな？では50人収容の研修室で、ということにしていたましたが、参加人数が確定し施設側と打ち合わせを重ねていく中で、会食会場のレストラン(芸術村とは別経営)のオーナーから、結婚式にも使っているし、よかったらそこを食事の前に使用しても構いませんよと言っていました。

研修室からレストランへの移動や蕎麦打ち体験をどこでするかなど、細かくチェックしていく中で、集合から宴会まですべてできればそれが一番と、レストラン一本での開催を決定しました。

レストランのオーナーがとても好意的にこちらの申し出に対応してくださってとても嬉しかったです。

そんな中でも当日はやっぱりトラブルがありました。

○開催地が離れていて下見ができなかったため当日たくさんの手違いがあり、慌てた。

事前のチェックは電話やメールでなく、目で見、耳で聞いて、手で確かめて、一つ一つ確実にすることが大切。

○WIHIが使えなかった。

電話での打ち合わせで、無線で使えるようにしておきます、ということだったが、設定してあったものがつながらなかった。iPhoneのテザリング機能、これも自分のAUは繋がらず、蓑毛さんのドコモでかろうじて接続。理事長のスカイプメッセージが捉えられるか、はらはらした。

○掲示物を吊り下げるワイヤーが動かず、横断幕は壁に粘着テープで張り付けた。

そんなこともあろうかと気が付いた小物は一応一通り準備して持って行っていた。(近くにはコンビニや店など何もなさそうだったから)

○パソコン、プロジェクター、スピーカーとアンプは熊本から持参した。

ホールや研修室だったらそれらのものは借用できたがレストランはカラオケ施設だけ。

持参した機器類の配置が宴席の真ん中になったことで、人が通るたびに接続端子が曲がり、とうとう断線してしまった。それで田中さんと坂田さんが機転を利かせて100メートル離れた芸術村の事務室に駆け込み、同じものを借りてきてくれて命拾いをした。

その後もみんなが行き来するたびにひやひやした。

- 宿泊部屋の間取りと料金がまちまちだったので皆さんに希望を聞くなど部屋割りに苦労した。
- その中でも一番残念だったのは、2か月くらいかけてずーっと打ち合わせしてきたレストランのオーナーが当日おられなかったこと、引継ぎはしてあったが、肝心のところが通じてなかった。でも従業員の方々が自分たちでできることを誠心誠意してくださったことは十分伝わってきた。

いろいろありましたが終わってみれば皆さん方の協力で記憶に残る15周年記念行事になって、感慨深いものとなりました。支部間交流となると開催地の決定などいろいろ難しい局面もありますが、それ以上のものがあつたと私は思っています。



15周年記念行事 チェンマイ支部

チェンマイ支部 No.1041 中西 岩夫

2月10日チェンマイ支部ロングステイヤー対象、参加希望者21名で15周年記念行事を実施いたしました。

今回の主旨であるチェンマイへの感謝の気持ちを表現できるもの、南国暮らしの会の目的のロングステイの実践をしている方達の親睦を通して現状と今後を考えてみたいを、テーマにしました。

日頃、会員の皆様にストッキング、プルトップでご協力頂いている義肢財団を視察させていただき、日本人スタッフの國吉晃代さんに財団の概要、作業工程や足を失った方に義足を合わせていく過程、実習の説明を1時間に渡りご説明いただきました。チェンマイに在住していても、実際拝見することは初めての会員の方も多く、大変勉強になると共に、無償で多くの方に光を与えているタイ国の姿、真剣・ひたむきに仕事をしているタイ人の若者の姿にも触れることができ、勉強になりました。





義肢製造作業

また、NPO法人南国暮らしの会チェンマイ支部として、タイ国にお世話になっている日本人として、何が出来るのかの最初の趣旨を、再認識できる場でも有りました。会からと財団へ些少ですが寄付をさせて頂きました。

今回の企画で、初めてのロングステイヤーの都合が合った方だけとは言え、後半は3台のマイクロバスに分乗して半日の有意義なツアーを皆さんの協力のもと実施することが出来ました。良い季節の風を受けながらの昼食後、チェンマイのグランドキャニオンと言われているパーチョーの見学、フラワーフェスティバルの見学を済ませ、チェンマイへ定刻戻りました。懇親はもとより、今後の考えや、本音をお聞きできた事も成果ではないかと思っています。運転免許証持参された方が、14名いらっしゃった事も新しい発見です。チェンマイでの生活を益々充実させる方、チェンマイからの卒業を考えられている方、今後を考える良い節目になった15周年記念企画になったことをねがい報告とさせて頂きます。

南国暮らしの会15周年記念祝賀会報告

ダバオ支部 No.1261 藤本 晴久

開催日 2014年9月2日 6pm～8pm

参加人数 15名

佐々木副支部長司会のもと行われ、初めに私より簡単なダバオ支部の歴史をご説明し佐々木副支部長より会設立当初のご説明をいただきました。

15周年祝賀乾杯をおこない、そのあとは数名の方にダバオ・ロングステイにおける注意することや楽しく過ごすためのアドバイスをして頂きました。

その流れで他の会員の方の失敗談で大盛り上がり。みなさんのお話の上手さに感服しました。その間、各テーブルでは過去の旅行体験のお話でこれまた盛り上がりました。

最後に抽選会を行い旅行に関する小物の進呈を行いました。もちろん1位は今が旬のドリアンでした。会の設立当時のお話等、少し過去を振り返り、これからのロングステイに向けての情報収集など将来に向けての楽しい時間が過ごせましたこと感謝いたします。最後に記念撮影を行い午後8時にお開きとなりました。



南国写真サロン



阿里山の神木(台湾)
No.1108 山田 美弥子氏



サンリーニ島(ギリシャ)
No.1537 鈴木 元恵氏



スコータイ
No.1388 寺田 光江氏



チェンマイ フラワーフェスティバル
No.1563 西野 裕之氏



バリ島 チャングーの夕日
No.1071 松尾 桂子氏



ホハヒン駅(タイ)
No.1346 池田 諭氏



ホイアン(ベトナム)
No.1518 恵 功氏



山小屋のレストラン(タイ北部)
No.1634 長田 隆秀氏

ニュージーランド ゆったりゴルフステイ顛末記

関西支部 No.909 鈴木 通弘

毎年恒例のニュージーランド(以下NZ)ゆったりゴルフステイ2014年も7名の参加者で2ヵ月半、楽しむことが出来ました。今回は単なる旅行記では無く、現地で生活するという視点からレポートします。

概 容

- 参加者7名 内 南の会会員4名
夫婦2組 単身者3名
日本から2名 チェンマイから1名
ペナンから4名(夫婦2組)
- 日 程
2014年9月29日 各地より出発
9月30日 オークランドで合流
10月中旬 北島旅行 6泊7日 全員
10月28日 4週間コースの1名 帰国
10月下旬～11月上旬 南島旅行 4名
12月9日 オークランド出発 各地へ帰国
(約10週間)

- ロングステイ先
オークランド空港より東へ約140kmのリゾート地 ワンガマタ(Whangamata)
日本では知られていないがNZでは魚釣、サーフインの名所として有名。

- 宿泊形態(10週間コース例)
ホームステイ 2～3名ずつ 3週間
レンタルハウス 4～5名ずつ 5～7週間
その他(旅行) 1～2週間

- 移動手段
レンタカー 8人乗り 2台
南島旅行は別途 レンタカー 1台

今回もゴルフが主体でしたが、その間、北島及び南島の2回の旅行をすることにより、生活に変化が出来、10週間もあつという間に過ぎたという感じです。以下項目別に見ますと、

- 北島旅行 10月14日～20日 6泊7日
7名参加

- 行 先
ワイトモ(大鍾乳洞・土ボタル)・ハミルトン・
タウポ(琵琶湖とほぼ同じ広さの湖)・ロトル
ア(温泉地)
- 観光及びゴルフ(5ラウンド)
セントアンドリュース・ロキエル・キンロッ
ク・ワイラケイ・オモコロア
- 移動手段 レンタカー
- 宿 泊 モーテル
- 食 事 朝・昼・夕食とも 殆ど自炊
- 経 費(1人当り概算)

・参考 NZ \$ 90円見当

1	ゴルフ	5R	400 \$
		(超有名コース 2箇所を含む)	
2	宿 泊	6泊 @50~60	330
3	観 光	3箇所	200
4	食 事		250
	合計		1180 \$

- *レンタカー費用は全期間(10週間借用により旅行費用より除外)

- 南島旅行 10月28日～11月7日
4名参加

- 行 先
クイーンズタウン・ミルフォードサウンド・マ
ウントクック・インバカーギル・クライスト
チャーチ
- 観 光 各地
- ゴルフ 無し
- 移 動 飛行機 及び レンタカー
- 宿 泊 モーテル
- 食 事 朝 自炊
昼・夕食 各1/3程度 外食

●経費(1人当り 概算)

1	ゴルフ	無し
2	宿泊	10泊 @60\$平均 600 \$
3	観光	ミルフォードサウンド 250
4	食事	400
5	航空券	300
6	レンタカー	350

合計 1900 \$

ゴルフ

言うまでも無く、このロングステイの中心はゴルフにあります。色々な比較のしかたがありますが、NZは環境、安さ、便利さ等、総合的に見て、世界トップクラスにあります。それに加えて、ワンガマタではいわゆるカントリー気質(かたぎ)の地元民の友好的な態度は日本人から見て、新たなゴルフライフを感じさせてくれることと思います。

1 ワンガマタのゴルフ場

当地には2つのコースがあります。(18Hと9H)18Hコースは車で5分、9Hコースは徒歩です。

2 料金

サマー会員券(385 \$ 日本円で約35千円)は6ヶ月有効で、期間中2箇所のホームコースはいくらゴルフをしても無料です。

因みにNZではキャデイ制度はありません。近辺(車で約1時間)に10箇所の姉妹コースがあり、ビジター料金30~40\$のグリーンフィは半額になります。又会員であればその他のコースでも割引が受けられます。

プレイはカート(2人乗りで35 \$ ~40 \$)がありますが、基本は手引き車(レンタルで5 \$ 又は購入70 \$ 程度)を使用しています。

3 コンペ

当地では多種多様なコンペが毎週のように開かれます。

1) 男性の場合ホームコースで毎週3回(水・金・土)あり、組み合わせも抽選ですから、地元の人との交流が出来ます。言葉(英語)もゴルフ用語が主体ですから慣れてくれば

苦勞より楽しさの方が増すと思います。

女性の場合も同様に毎週3回あります。

2) コンペ及び開催形式

「地元コース」

①参加料 1回当り 5~6 \$

②競技方式 ステープルフォード

NZ独特のやりかたで、日本ではありません。ホール毎に得た点数を加算するので、1-2ホール大叩きしても入賞のチャンスがありますので、積極的なプレイが出来ます。

「地域交流」

①ホームコースでのコンペ以外他のクラブとの対抗戦。

②50才以上の人を対象としたベテラン大会はゴルフ場を順次変えて定期的開催されます。

③毎月1回各ゴルフ場ではミートバックコンペがあり、格安(プレイ費及び賞品込みで約20 \$)が開催されます。

④11月になりますとオープンXマスコンペがあります。

4 NZ全ゴルフ場共通のハンデキャップ

1) 5枚カードを提出すればNZ全ゴルフ場共通のハンデキャップが取得できます。

2) ハンデは2週間ごとに変わります。

3) このハンデにより、いつでも、どこのゴルフ場のコンペにも参加できることになります。

5 ゴルフ回数実績

個人差がありますが、私(鈴木通弘)の場合70日の期間中10箇所のゴルフ場で62回プレイしました。1週間で6回の割合になります。

ゴルフ以外の娯楽

1) ワンガマタにはゴルフ以外に魚釣(船釣り磯釣)や乗馬・トレッキング・ハイキングが楽しめますが、歴年の実績を見ますと、ほとんどの人はゴルフ以外興味を示されないようです。

2) 地元にはテニス・卓球・ラグビー・絵画・陶芸クラブもありますが、期間の関係もあり、過去参加者は皆無でした。

3) 我々の世代(60歳以上)はマージャン全盛時

代でしたので、時間つぶしと頭の体操を兼ねて、麻雀用具を持参していますが、年によりメンバーが揃ったり揃わなかったりです。

4) 街中にはカラオケバーもありますが、日本の曲目もありませんので、日本人には馴染めないと思います。

レンタカー

NZは車社会です。鉄道は大都市間(オークランド⇄ウエリントン)でも1日2往復しか無く、定期バスの頻度も日本とはくらべものにならない位少ない本数です。

したがって、移動はレンタカー頼みです。

レンタカー会社は大手から個人単位の会社まで千差万別です。短期間ですと1日当たりの料金が多少高くても余り差は出ませんが、70日間ともなると、大きな差になってきます。

それと安全性、信頼性です。事故が無ければ何も無いのですが、一旦事故、たとえばパンクや物損から人身事故等起こすと、保険が掛かっているとしても、英語が話せない、現地事情に疎い

こともあって、パニックが増幅します。そこで料金面と言葉の壁を少なくする為に今回インターネット検索で日本人経営のレンタカーを借りました。

- 1) 8人乗り乗用車 2台 71日間
1日当り52\$及び36\$ 保険料込み
期間中 1人当り 約880\$
南島旅行分は別途支出8人乗り用でもゴルフ用具・旅行カバンがあるので、2台でも狭い位でした。
- 2) 日本からナビゲーター(日本語音声付)
- 3) 国際免許証 必須
- 4) NZは日本と同じく左通行であり、車も少ないので、オークランド等の大都市を除いては運転も楽です。

宿泊について

- 1) 10週間コースの場合
ホームステイ 2~3名づつ 3週間
レンタルハウス 4~5名づつ 5~7週間
その他 旅行 1~3週間
上記でローテーション。

台湾LS視察旅行について

関東甲信越支部 No.1607 阿部 滋敏

- 期 間 2014.10.29~11.4 (6泊7日)
- 参加者(順不同敬称略)
外山 實、布田 千鶴子、神宮路 昭弘、
吉田 和男、高橋 洋子(非会員)、
田子 初美、阿部 滋敏・昭子 (8名)
- リーダー 外山 實
- 費 用 航空運賃 49,700円
現地費用 97,310円
計147,010円
- 使用航空機 エバー航空 (台湾)

概 要

今年度から「公的法人賛助会員」となった「一般財団法人・ロングステイ財団」の2013年度の



調査統計によると、ロングステイ希望国の1位マレーシアから10位の台湾までの10ヶ国の内、6ヶ国が東南アジアの国々である。この内、南の会の支部のないのは、8位のシンガポール、9位のインドネシア、10位の台湾の3ヶ国である。日

本からの近さや親日度が最も高いのは台湾であることから、今回は台湾の視察旅行を選択した。

時期としては夏は35℃近くあり、非常に暑く、湿度も高いし台風も多い。冬は中央アジアから吹いてくるモンスーンにより気温が下がることもあり、山岳地帯は降雪も多い。また、1～2月の旧正月の時期は大混雑のようなので、10～11月がベストシーズンのようだ。

視察旅行は一般の物見遊山の団体観光旅行とは大きく異なる。団体観光旅行では旅行業者がホテルや土産物屋と組んでバックマージンを受け取ったり、喫茶、食事を無償で提供して貰ったりしている。その結果、観光客は土産物屋で大量に支出し、食事時間もゆっくりできず、旅行業者の作った時間刻みのスケジュールに追い回され、ホテルに着くとぐったりしているのが常である。しかしながら表向きの費用はぐっと安く、結構人気はある。これに対して視察旅行は前回のチェンマイ視察旅行の時も同じことが言えたが、近い将来、ここに自分が住むとしたら何が必要で、どこを見ておかなければならないかなど、明確な目標を持ってサービスアパートメント、コンドミニウム、病院、マーケット、現地の日本人会などを見て回り、質疑応答により、理解を深めるものだと思う。しかも少人数が向いており、費用も若干高くなる。チェンマイの時も今回も10名以下でちょうど良かった。

台湾統一地方選挙が11/29に実施されるとのことだったが、建物や街角は国民党の青勢力と民進党の緑勢力の看板や旗が林立し、騒々しかった。2、3ヶ月も前から有権者の囲い込みが始まり、演説会、お食事会、バス旅行など最後まで軍資金が尽きなかった候補者が当選するそうで、さながらお祭り騒ぎであった。団扇が選挙資料かどうかで揉めているどこかの国とは大違いであった。

日 程

10/29 10:00 成田発 エバー航空BR195

13:05 台北着 専用大型バスにて台中へ

【振英会館泊】

台湾とは1時間の時差、現地は31℃、成田より10℃高かった。台北桃園空港にて外貨両替10,000円 2,728NT\$、成田では2,469NT\$なので10%ほど得した。マイナー貨幣は現地で両替の鉄則が生きていた。



振英会館



振英会館の部屋からの眺め

10/30 午前 市内マーケット、病院などロングステイ施設視察

午後 専用大型バスにて日月潭へ、日月潭観光

【リアレア・ガーデンホテル泊】

10/31 午前 マイクロバスにて武昌宮、集々駅、烏山頭ダム、八田技師記念館

午後 台南市内観光、蓮池潭、高雄市内

【アンバセダーホテル泊】

11/01 午前 高雄市内観光

高雄芸品館という免税店に入る。三普旅行社



台中の総合病院

と提携している店のようだ。宝石や各種土産物を勧められたが誰も何も買わず。

午後 総合病院、スーパーマーケットなどロングステイ施設視察

【アンバセダーホテル泊】

サービスアパートの予定がビジネスホテルで自炊不可、マーケットは午後には閉店で見られず、コンドミニアムは土曜の午後で担当者不在で見学中止、など事前準備不足が残念であった。

予定外にメンバーの布田さん推薦のゲストハウス「あひる家」を見学した。トイレとシャワーが共用であったが、こぎれいで、オーナーの日本人の対応も良く、大変参考になった。

アンバセダーホテルは団体向けホテルでサービスが良くない。おもてなしの感じを受けなかった。アルバイトのウェイトレスなど笑顔がない。中国人団体観光客が騒がしかった。部屋が寒く、空調を止めても寒かった。

11/02 午前 新幹線にて台北へ

台湾の新幹線は台湾高速鉄道という会社が運営しており、成人は「全票」、65歳以上は「半票」といい半額で乗れるはずだった。事前に名前と年齢を申告してあったので、65歳以上の参加者には後で返金があると思っていたが、それはなかった。不思議な気がした。

午後 サービスアパート、スーパーマーケットなどロングステイ施設視察

【サンワールド・ダイナスティーホテル泊】

コンドミニアムには行かず、代わりに自炊不

可のホテル、総合病院は市の中心から遠いので見学中止などここも事前準備が不足していると感じた。

サンワールド・ダイナスティーホテルは団体向けホテルでサービスが良くない。おもてなしの感じを受けなかった。従業員に笑顔が少ない。インターネットのアクセスが悪く、ビジネスユースには向かない。などホテルとしても今後泊まりたくない。

11/03 午前 専用大型バスにて台北市内観光
午後 台北市内観光、国立故宮博物館、士林夜市

【サンワールド・ダイナスティーホテル泊】



集集駅

国立故宮博物館は団体観光客で超混雑、3Fの清代の翡翠の白菜、肉形石を30分以上並んで1分で見るという感じであった。出張展示のため、現物がなく、パネルだけという文物も多かった。中国人団体客の騒音が大きく、「お静かに」と書いた団扇を掲げているスタッフが大勢いた。



台北忠烈祠衛兵交替

11/04 15:00 台北発 エバー航空BR196
19:00 成田着

視察旅行を終えて

外山さんにはお世話になったが、今回の視察旅行は以下の感想文を見ても、「視察旅行」としては満足されていない方が多いようである。今後の視察旅行をより充実したものにするために、敢えて苦言を呈したい。

今回は、事前にメンバーが集まり、台湾ロングステイ協会東京事務所の方のお話を聞いたり、メンバーが何をしたいか、何をしたいかなどを話し合い、それに基づき外山さんが現地の旅行社やサービスアパートメント、コンドミニウム、病院などに事前準備の手配を密にして頂ければもっと充実した視察となったと思う。

参加者からの感想文(順不同敬称略)

紙面の都合で謝辞等は割愛し、主要な部分の記載に留めたことをご容赦下さい。

【吉田 和男】

25年ぶりの台湾訪問であった。今まで私の中でロングステイ候補地として台湾は候補に挙がっていなかった。その理由は、物価が日本と変わらないだろうから一般の観光旅行地として考えていた。

今回、台湾を訪れてみてずいぶんと近代的に発展したものだと思った。大規模な開発が盛んに行われて、自家用車やタクシーなどはどれもきれいな車が多かった。

台湾を縦断した旅行であったが、台北や高雄は大都市であり、大きなショッピングセンターやマンションがあり、交通混雑などに都会の喧噪が感じられた。

車窓から眺める街の風景に何故か親近感があった。私が今まで行った外国の街並からは感じられないものであった。それは、言葉は話せなくとも店の看板を見ているとだいたいの意味が分かる気がしてくるのである。



バスの窓からの景色

今回の旅行地で一番印象に残った場所は、台中で宿泊した「振英会館」である。設備の良さと日本語を話せるスタッフがいるので滞在場所としておすすめしたい。また、台中は、他の都市に比べて落ち着いた雰囲気があり、振英会館を拠点にしていろいろと見て回るのも良いと思った。「振英会館」の詳しいことはホームページに記されているので確認していただきたい。ちなみに宿泊費用は、宿泊日数によって違ってくる。10泊で21,000元／20泊で26,500元／30泊で30,000元。

その他に印象に残っているのは、台南市にある「烏山頭ダム」を訪れたことである。日本統治時代に八田與一氏が不毛の地であったこの地にダムを建設して台湾最大の米作地帯になった功績を初めて知り感銘を受けた。



烏山頭ダム

【布田 千鶴子】

台湾台北から2泊かけてバスで南下し、いよいよ、高雄に到着しました。私の目的地です。高雄は一年中、半袖一枚で過ごせる気候の良

い場所でした。私達が宿泊したホテルは高雄漁港に続く運河があり、その道はどこまでも綺麗にライトアップされ、恋人たちの名所でもあります。高雄の有名な六合夜市はMRTから歩いて数分…駅名は「フォルモサ美麗島駅」と名付けられ、地下鉄の入口はガラスのテント張りです。まさに東京の豊洲駅を連想させました。私は活気ある漁港町の庶民の胃袋を満足させる夜市と近代化された美しい街の高雄がっぺんで大好きになりました。

高雄で2泊した後は新幹線に乗り、一気に1時間半で台北駅、到着。高雄を沖縄の気候に例えたら、台北は東京のようです。それが一気に新幹線で両方楽しめる！なんて…まるでジャパネットの宣伝に出てくる家電のような便利さです。道路も広く整備され、市民の足、バス専用Laneは一日中、確保。また、道路の一部はバイク専用Laneがところどころあり、タクシー、モノレール、ステイ中はどこでも自由自在に動きまわりますね。一步裏町に入れば、昔の情緒ある店や人々が生活しています。

次回は、台湾の離島を旅する事も頭に入れて『フォルモサ麗しの島…』*「台湾」を再び、訪れたいと思っています。

【外山 實】

この旅行の印象は台湾がロングステイに大変適しているところだと、改めてわかったことです。今までも、台湾はいいところだと聞かされていましたが、1週間滞在して肌でその実感を体験いたしました。例えば台中市で夜、10時過ぎ一人で街に出て散歩しましたが、ちょっとした路地裏に入っても、全然怖くなく、帰り道がわからなくなると、そばの人に道を聞いたのですが、その人は日本語の分かる人を探してくれて、帰り道を親切に教えてくれました。多分、台中市は地方都市なので、まだまだ人情の厚いものが残っているのではないかと思います。同じようなことは日本の地方都市でも見られることだと思います。

また、高雄市や台北の夜市に行った時も、も

のすごい人出で、迷子になることが無いよう皆で気を付けながら歩きましたが、すりとか押し売りとか、他の国では心配しなければならないことが、ここでは全くなく夜市のそぞろ歩きを堪能することが出来ました。

視察の中で気づいたことは、台中市で振英会館に泊まりましたが、ここはロングステイするには十分な施設と内容を持っていて、日本語のわかるスタッフが常駐し、部屋にはダイニング・キッチンがあり、自炊用の器具がぜんぶ揃っています。電気洗濯機もおいてあります。ただ、食堂がありませんので食事は外食か自炊になります。

各訪問地で、スーパーマーケットに寄りましたが、内容は日本とほとんどかわりなく、どこでも日本食の食材が置いてあり、値段はお店にもよりますが、全体として日本と同じか、少し安いという印象でした。また、現地の市場にも行きましたが、物の値段は大変安く、魅力的でしたが、値札がついていないため、交渉ができればちっと無理との印象で、やはりスーパーマーケットを利用するしか方法がないように思いました。

医療の面では台中市で中山堂医科大学附属病院、高雄市では高雄医科大学附属病院を訪ねました。どの病院も日本の総合病院と変わりなく、設備、診療科目とも大変充実しており、英語と日本語の出来るスタッフが常駐しています。診療はどこでもまず、受付で日本語スタッフに症状について説明し、それから専門の先生に案内する方法です。そのため、事前に予約を取る必要があるとのことです。

【神宮路 昭弘】

今後のロングステイの下見を企画される時のためにも、あえて辛口で評価させていただきます。

- (1) 台湾ロングステイ視察旅行となっていますが、何か観光旅行のようでした。
- (2) 外山さんと現地のガイドさんとの打合わせが良くされていない。
- (3) こちらの要望が理解されていない。

- (4) 高雄に2日いたが全然ロングステイの施設視察になっていない。何のために高雄に行ったのか？ サービスアパート？ 病院視察？ ただ受付フロアで診療項目を見たに過ぎない。
- (5) 私どもの参加目的はロングステイが出来る地域を視察することであった。そこで日本の方がステイされている現状と情報が当然得られるものと思っていた。日程表(行程)を見る限りそのように理解していた。
- (6) 台中の振英会館に宿泊したが、ここで時間を取り現地宿泊間利用されているお客様との情報交換の時間を設けるとか、会館周辺の利用する病院、生活するためのマーケット案内等、これからロングステイするために必要な情報(良いところ、悪いところ、注意すべきところ)が無い。この様な情報は現地ガイドに伝わっていないのではないかと？
- (7) ロングステイ視察に対する情報が不足している。観光旅行では無いことを認識してもらいたい。観光旅行ならこの日数と費用は不要と思う。
- (8) 色々と辛口評価をしましたが、今後ロングステイの下見を企画されます時に、参加者の希望等を検討できれば良き企画と思います。

【阿部 昭子】

台湾へは、4年前に鉄道旅行好きな仲間8名でリュックを背負って、台北から新幹線、ローカル列車、地下鉄、ローカルバスも含めている色々な種類の鉄道を乗り継ぎ、西回り5泊で一周した。この旅では、次の駅を探していたときに土地のシニアの人が片言の日本語で教えてくれたり、ローカル列車の中で男女の大学生グループと英語で話して、外見を飾らない素朴で健康的な印象を受けたり、日本統治時代に作った駅舎や建物がそのまま大事に使われていることなどから、日本がどこかに忘れてきてしまったような、素朴で温かくほっとするようなものを感じた。そしていつか台湾でゆっくり過ごしてみたいと思った。



振英会館の近く

今回の旅の一番の目的が、ロングステイ視察ということなので、ステイにふさわしい宿泊施設、食堂、病院、街の様子、などの情報を得られることを楽しみにして参加した。この点では台中の「振英会館」は日本語を話すスタッフが案内してくれ、実際に1泊することもできて大変良かった。広いスイートルームにフルキッチン、調理器具・食器、バスタブ、洗濯機・乾燥機などの設備、ステイしている人同士の交流のためにパーティや体操、マージャン用の部屋、友人が泊まれるゲストルーム、コンサートホールやDVD鑑賞室兼カラオケルームなどが、ホームページの写真の通り綺麗に整備されていた。宿泊料金は1泊だと1万円、1か月だと10万円だそうだ。お店や食堂がたくさんあるバス道りから、一步入った静かな場所に建っており、中規模都市で、貸ピアノ練習室のあるヤマハもあるということだった。

他は残念ながら、殆どの時間が観光旅行だった。自炊設備のあるコンドミニアムやサービスアパートをもっと見たり回りを歩いたり、ローカルな乗り物にも乗りたかった。食事は毎回のように大きなレストランで中華コース料理の宴会だった。ステイをしたら行くであろう、土地の人が行くような安くて美味しい食堂に、もっと行きたかった。高雄と台北のホテルは大き過ぎて、団体客を流れ作業でさばくような印象を受けた。台湾の人々にも触れたかった。

タイ農民銀行について

関東甲信越支部 No.1457 小野 耕一

タイには全国規模の主な銀行はバンコク銀行、サイアム銀行および農民銀行などがあります。三行ともコールセンターは英語対応していますが農民銀行のコールセンターは日本語にも対応しています。（農民銀行はタイ語(北タイ)で通称カシコンと言っています）

農民銀行の支店で口座開設をしますが必要なものはパスポートと住所です。住所はいつも滞在するホテルやゲストハウス、貸家にオーナーの了解を得てします。銀行からの郵便物はここに届きます。オーナーと一緒に支店に行きオーナーのサインが必要です。

開設時の預入額は500バーツ以上ですが10000バーツ以上がお勧めです。（銀行はリタイアメントビザのための多額の預入を期待しサービスがよくなる？）

カードはその場で発行してくれます。後日暗証番号の変更は農民銀行のATMでできます。

このカードは日本で日本の銀行で円の預入、引き出しができますし外国でも外国の銀行でその国の通貨でできます。（外国の場合は「PLUS」のマークがある銀行です）

一度の引き出し限度額は2万バーツですが日本で引き出すことを考え増やしておきます。その場で日本語コールセンターに電話してもらい依頼するとその場でしてくれます。

ATMでの引き出し手数料

口座開設支店の同一県内農民銀行は無料。

県外の農民銀行は10バーツ

〈タイ国内の他行〉

口座開設支店の同一県内 1か月3回まで無料、4回目から15バーツ

他県 15バーツ

外国 一律に100バーツ

カードの有効期限 5年

日本語コールセンター

タイ国内02888-8826

（すべて2014年現在です）

今は円安なので預金してもメリットはありませんが円高の時に日本でも円で預入できるので預金しておくとかかなりメリットがあると思います。



マレーシア特集

7年間のKL生活

関西支部 No.1188 二瓶 ケイ子

2008年に関西支部のマレーシア下見ツアーに参加しすぐ決断し、KLで3カ月の体験ステイしました。その時のT支部長が日本人会の会員の手続きの仕方、道案内、日本の食糧・日用品・両替の仕方などいろいろ教えていただきました。そしてボランティアができることもわかりました。

そこで私はKLで語学留学とボランティア目的でロングステイをしてみようと思いました。

エージェントにMM2Hの手続きをお願いして、日本に帰りました。

前段階

日本の友人には1年間語学留学に行くが、1人なので、不安だからスカイプをしてほしいと方法を教えました。当時はまだ今のようにスカイプの情報が広がっていませんでした。きちんと説明してスカイプで安否がわかり、また私がホームシックにならないようにしました。

住所は郵便局に転居届をして、郵便物は友人宅に届くようにしました。

お金は体験の時、マレーシアの銀行口座を持ったので、日本の銀行からマレーシアの銀行に送金しました。

MM2Hは10年間マレーシアに滞在できますが、パスポートの期間との関係があるので、新しく作り直しました。

風邪くすり・うがい薬・下痢止め・抗腹痛剤・シップ・絆創膏など考えられるもの準備しました。



英会話の先生

ロングステイの始まり英会話

英語が話せるナウイおばさまになりたいと思っていました。ときどき英会話を習ったりしましたが、全然効果ありません。よく海外旅行もしましたが、ツアーでは話せなくても困りません。だからいつまでも挨拶程度の会話だけです。

まず初心者が、学べるところを知人に聞き、学校かプライベートレッスンか悩みました。辞書を片手に学校訪問しました。たくさん学校はあります。でも事務所の方と接する時点で意味がわからなくて無理と判断し、最初はプライベートレッスンを2回頼みました。これはコンドミニアムコンドまで来てくれて教るので、楽で楽しかったです。1時間約1600円です。教師のタクシー代含みます。その後レッスンと並行して週1回の学校に行きました。2か月コースとか3か月コースとかがあったので、1年間通わなければというプレッシャーはありませんでした。

英語でレッスンを受けるということは、教師は英語ですべてを話すわけですから、まず教師の言っていることが理解できないと何を言っているのかわかりません。当たり前のことですが、これはしんどかったし、最後はプライベートだけになりました。学校は楽しくないがカリキュラムがあるから上達する。プライベートレッスンは楽しいが上達しない。どちらを選ぶかあな

た次第でしょう。

1年後成果が出ないことが分かり語学留学という名目から異文化体験と目的を変えました。

ボランティア

アルツハイマーの方のデイサービスに週1回1～2時間参加しました。折り紙を折ったりゲームをしたり、盆踊りを一緒にしたりして過ごしました。言葉はわかりませんがそばにいただけで安心されます。どこの国の方は同じだと思いました。この施設ではほとんど中国系の方が多く、メイドさんが各通所の方についてくるので、私たちはただ遊んで笑顔になってもらえただけでした。2012年に移転になり中止しました。

竹トンボを子供たちに教えることも月1回しています。これに関連して年1回日本人小学校に指導に行ったり、何かのイベントに招かれて行ったりしています。また国際結婚している方の子供たちに、不定期ですが、日本の文化を教えたりしています。



アルツハイマーの方のボランティア



竹トンボの指導

生活費

最初は単身でしたので15万円だと決めていました。コンドミニアムの家賃が約5万1千円、残りが生活費です。最初のコンドミニウムは複合型でショッピングモールや事務棟が一緒になっていたのでクリニック・郵便局・スーパーマーケット・レストランがあり、とても便利でした。安い食事をしていました。1回150円とか300円とかでした。洋服も安く最初のころはよく民族衣装を買いました。レッスン代1万円～1万5千円。光熱費1万円以下です。

電車・バス代はびっくりするほど安いです。タクシーも日本人会まで300円未満で乗れました。今は食事も交通費も高くなりました。

2014年夫婦2人で20万～30万の生活費だと思っています。コンドミニアムの家賃をどうするかで生活費や内容が変わってくと思います。

医療

日本人医師がいますので、慢性疾患は安心です。薬も出していただけます。支払いは一応そこで払います。

日本の国民健康保険を持っていれば、保険請求用紙を書いてくれるのでそれを帰国した時市役所に提出すれば1～2か月後に戻ってきます。

最先端の医療器具も揃っています。

ただ、緊急の病気をしたときは大変です。まず私立の病院に行くことです。公立と私立では救急車の電話番号が違います。

私立病院では海外保険に入っていると、それが使えます。昼間は日本人か日本語の話せる通訳がいるから問題ありません。夜間は通訳いないので何とか自分たちで対応です。現金は持参しましょう。お金がなければ見てくれません。

たとえば私は場合は尿管結石で病院受診。救急車で公立に連れていかれました。まずデポジットを払わされ、診察まで延々と待たされます。痛みが強く思わず日本語で痛い・しんどい・我慢できないと叫びました。そして診察です。検査結果も待たされます。結果わかったら真夜中

の2～3時に帰宅させられます。日本のきめ細やかな対応とは違います。海外保険でキャッシュレスですが約40万円ほどかかっています。

旅行

エアアジアがあります。KLに住んでいれば近くのアジアの旅行は便利です。安いです。リタイア組は時間があるので、プロモーションに合わせて計画すると日本国内を旅行するより安いです。ほかのLCCやバスもあります。

インドネシア3回・中国3回・シンガポール2回。ラオス・タイ・ベトナムに行きました。

旅行中は水道水(生水)を飲まない・人の少ない所に行かないようにすれば、まず大丈夫です。しかし日本人は無防備なのでスリやひったくりには注意が必要です。

ゴルフ

木曜会というのがあって、上手な人・新人さん・旅行者の方も前もって申し込めば参加できます。最初は車がない人はボランティア車を手配してくれますが、いつまでもボランティアを頼ってはいけません。自分で行けるようタクシーや知人を探さなければいけません。私は同じ南国の方がいらしたのでピックアップしてもらって参加しました。

徐々に知り合いが増え、それぞれ違う日もプレイするようになります。多い人は週5日。普通週2～3回です。費用は3000円前後(1回)男性はゴルフ目的で来ている人が多いので、ゴルフ・ゴルフです。



出会い

私は単身で来ていたので、まず友達を作ろうと思っていました。何かの時に助けてくれる人です。また信頼できる人を見つけることです。

スポーツジムで出会ったA

中国系の彼女はことばのわからない私をショッピング・ランチ・旅行に誘ってくれました。銀行の口座も開いてくれました。

大事なものを保管するように貸金庫も手配してくれました。とにかく子育てが終わり、時間があるので、のほほ〜んとしている日本人おばさんのお世話をすることに情熱を燃やしています。

強引でわがままですが、とてもいい人です。

英語教師のV

彼女はインド系の方で穏やかな方です。日本人の子供たちの家庭教師をしています。彼女は私にマレーシアの文化を教えてくれました。コンドミニアムのトラブルの交渉をしてくれました。イベントのある度に自宅に招待してくれて、さびしくないように気配りしてくれました。今私が住所変わったためレッスンは受けていませんが、メールや電話で連絡しています。

国際結婚しているSさん

ボランティアで知り合った日本人のSさん。彼女は中国系のご主人と結婚して20年以上マレーシアに住んでいます。彼女は車の運転もするし、ご主人はまだ現役なので一人で行動して私をピックアップしてくれます。何かの時は連絡しなさいとKLでの身元引受人になってくれます。

T支部長

最初にこの方がいろいろお世話してくださったから、マレーシアでのロングステイができました。誰も知り合いがいな中、ただ南国暮らしの会の会員というだけで本当に助かりました。だから私もできるだけサロン会に参加し訪問会員の役にたてればと思っています。



自宅のコンド



友人の結婚式

関西支部のTさん

彼はマレーシアに以前から何度かボランティアで訪問されています。KL市内・キャメロン高原・イポーなど案内してもらいました。またインドネシアにも連れて行ってもらいました。その時バスや電車の乗り方を学びました。これも南国のメンバーとしての信頼だけでお世話してくださりました。

主人

2012年に大病を患い、ロングステイもそろそろ終わりかと思っていた時、主人を紹介されました。単身生活に不安を持っていたのと彼の経歴に共通するものがあり、結婚しました。その後病気ばかりしていて姉妹・友人から結婚していてよかったねと主人の株だけが上がっています。

以上のような私の7年間の体験です。退職して南国暮らしの会に入会しなかったら、こんなハッピーな人生はなかったでしょう。

長田ケイ子(結婚して、二瓶ケイ子になりました)

気ままにイポー(マレーシア)暮らし

関東甲信越支部 No.1238 名塚 政幸

なんでイポー？

イポー市で暮らして6年経ちました。

「もう十分働いたし大病も患ったし、老後は海外で気ままに過ごそう」との思いで61歳夏に40年勤めた会社をリタイア。

リタイアしてまもなく、LS地としてかねてより狙いをつけていたマレーシアのクアラルンプール(以下KL)、フレザーズヒル、ペナン、ランカウイを妻とともに各1週間下見を兼ねて旅行しました。

その時感じたことは、KLはすごく便利だけど大都会すぎてちょっと目が回りそうな感じ。

フレザーズヒルは自然豊かで(いわゆる山の中)のんびりできるのはいいがコンドや借家が少なく、LSにはちょっと不向きかな?でも捨てがたい。ランカウイは観光地で物価高。

ペナンはこ洒落た島で南の会の仲間も多く、生活しやすく魅力的でしたがゴルフ環境がイマイチかな?(ゴルフをするのにマレー半島まで車で往復2時間かかる)…と、LS地としては「帯に短かし、襷に長がし」との印象でした。

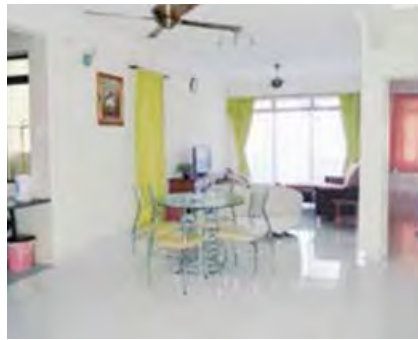
翌年1月、新たに情報を得たイポー市を加え、再度ペナン、フレザーズヒルを各ひと月ステイする計画を立て再来馬しました。ところが最初に行ったイポー市の「メルバレーリゾート」が大いに気に入り、ほかはすべてキャンセルし、ここをLS地と決めました。

イポー：メルバレーリゾートが気に入ったわけ

ここは27ホールのゴルフ場を囲み、のんびりした緑豊かな環境、毎朝野鳥のさえずりで目覚める爽快さ、借りたコンドの部屋(当初の部屋は8階角部屋)の窓からゴルフ場が望め、周りの山々の景色も素晴らしい、約80㎡強で2ベッド・2バスルーム・1リビングダイニング・1キッチン・ラナイのある部屋は引っ越してきたらすぐ



私たちが住むGolf Vista



リビング・ダイニング



コンド内のプール

生活できる生活グッズや調度品も揃っていて、LSを目指す私たち夫婦にはうってつけでした。

ちなみに家賃は各部屋オーナーによって異なりますが、2ベッドルームでRM1400~1800、3ベッドルームでRM1700~2500です。最近は値上がり傾向です。(RMとはマレーシアリングットの略で、2015年1月現在で1万円を両替するとRM290程度です…数年前はRM400ほどになった時もあったのに最近の円安が恨めしい!)

ショッピングと食べ物屋

日常生活には欠かせないイポールの買い物環境ですが、コンドから車で20~30分のところに日本食材も豊富にあるイオン(ジャスコ)モールが2軒、テスコやジャイアントという大型スーパーや中小スーパー、ローカル市場、RM5ショップのダイソーもあります。

日本食レストランや安くておいしい中華レストラン、マレー料理やインド料理、フードコートもたくさんありますので日本人がLSする生活環境は良好です。(マレーシアの軽井沢??として人気のキャメロンハイランドにLSされている

日本人は往復5~6時間かけてイポーに買い物に来ているようです)

こんなに素晴らしいイポーですが大きな問題点が2つあります。

<その1・交通手段>

イポーには交通手段として鉄道(KLセントラル~タイのバンコクまで)とバス便(バス停はどこ?)がありますが、近場での買い物や食事には車がないと不便です。

Taxiはありますがメーターがなく、運転手と値段交渉しなければなりませんので土地勘のない人にはお勧めできません。

ただしゴルフビスタからイオン(ジャスコ)間は協定で往復RM50のようです。

そこでLSしている日本人の多くは当地で日本車かマレーシア車を購入するか(ビザを取って1年以内なら新車購入は無税です)愛車を日本から船便で運んでいます。

中古車購入という手もありますが当たりはずれが多いようです。



イポー市内の市場



イオンの売り場



焼きそば・サテ

因みに私はイポーに住んだ当初、低価格につられヒュンダイの中古を買いましたが、故障ばかりで参った経験もあります。3年前ビザを取った際にマレーシア：プロデュア社の「アルザ」1500CCワンボックスカーを約RM6万で購入しました…お気に入りです。（マレーシアでは故障のほとんどない日本車が人気ですので街には新旧合わせて日本車が溢れています。国産車は他にプロトン社もありますが評判はイマイチです）

レンタカーはカローラクラスで月間RM1800程と高い。（部屋代と変わらない）

<その2・医療事情と日本語スタッフ>

医療施設に日本語ができる医師やスタッフがないので病気になった時にどうするかが大きな問題です。（KLやペナンには日本人スタッフがいる医療施設が数軒ある）

医療スタッフに自分の症状を伝えることができないのでは適切な治療を受けることは望むべくもありません。体のあちこちが痛んでいる私たちシニアは安心してLSできません。

そこで私たちLSしている日本人は通訳に同行してもらったり、英語の堪能な友人に同行してもらったりで対処しています。

私は日本語堪能のチャイニーズの友人（パン屋とレストラン経営）にお願いしています。

医療技術について希望的観測でしょうが「日本と変わらない」という日本人が多いです。

私事で恐縮ですが、1年ほど前に心臓の拍動がおかしくなりイポーのファティマ病院に入院した折には24時間心電図・血液・レントゲン検査等々で「重篤な不整脈」と診断され、心臓外科の専門医が最新のペースメーカーを装着してくれ、3泊4日で退院できました。

半年ごとに経過観察しており、現在は何の支障もなくゴルフや日常生活を送っています。（私は10年前に東京女子医大で胸部大動脈解離の手術をしています。昨年、経過観察で通院した際、主治医にペースメーカー装着の個所を診てもらったところ、「完璧」とのことでしたので、イポーの

医療も捨てたものじゃないとの意を強くしました）

その後に発症した鼠径部ヘルニアも専門医が内視鏡下で手術し完治しました。

別件ですが、たまたま私たち夫婦と一緒にいた友人女性が急に言語不明瞭となり左半身麻痺を訴え際には、「脳卒中」？と思い、時をおかずファティマ病院に急行し、即治療を開始したので、現在では心配された麻痺もなく元気にゴルフや日常生活を送っています。

そのほか妻が食中毒で3日間入院したり、風邪をひいたりイポーの医療施設のお世話になっていますがすべて大過なく回復しています。

イポーでの日本人御用達病院はファティマ病院、スペシャリスト病院、パンタイ病院です。歯科やクリニックも多数あり、日本語堪能医師がいる歯科医院も1軒あります。

医療費の支払い

私や妻がイポーの医療施設で診察・治療を受けた際の費用はクレジットに付帯されているものでまかさないました。

退院時に立て替え払いしましたが、帰国した折にカード会社に請求し全額戻ってきました。（ペースメーカー手術の入院治療費は約100万円でした）

因みに私の持っていたのは「楽天ゴールドカード」でしたが、他社のカードも同様の付帯があると思われますので所有のカードをお確かめください。

また立て替え払いとはなりますが国民健康保険も使えますのでお調べください。

ただし、欧米旅行の際は医療費が高額でカードでは対処できないことがあると聞いていますので私は別途「海外旅行保険」を掛けていきます。

ペラ州イポー市

イポー市はKL、ペナンに次ぐマレーシア第3の都市ですが、旧都然としており高層の建物はほとんどありません。

KLからは北に約200キロ、ペナンからは南東

に約170キロです。

人口は約70万人、人種の内訳は中国系70%、マレー系17%、インド系他3%で、言語は広東語、マレー語、英語、インド語?で、ほとんどの人が英語OKですので、私の単語を並べただけの拙い英語でも聞き分けてくれます。日常生活にはさほど困りません。

天候は常夏で湿気が多い気候ですが室温30℃を超える日はほとんどありません。

夏は日本の夏よりすごし易く感じますし、冬は窓を開けて寝ると寒いくらいですので夏場の避暑、冬場の避寒にはもってこいです。イポーを知った人の多くがまた来ています。

例年日本が寒くなると、リゾート内および周辺には日本人の越冬ステイヤーが多くなりゴルフ場も盛況になります。正確にはわかりませんが、50組ほどの日本人シニア夫妻が長・短期のステイ楽しんでいるようです。

他には企業で働く若い人やその家族がいて、休日に子供たちとコンドのプールや遊園具で遊ぶ姿がみられます。

近くにインターナショナルスクールもあり子女教育の心配もないようです。

ゴルフ事情

イポーにはメルバレーより車で30分以内に4つのゴルフコースがあります。

1. メルバレーゴルフ&カントリークラブ
(27ホール)
2. ロイヤルペラゴルフクラブ
(18ホール)

3. クリアウォーターカントリークラブ
(18ホール)

4. キンタゴルフクラブ
(18ホール)

メルバレー周辺に住む日本人は主に1.でプレーしますが、2.や3.の会員権を所有している方もいます。因みに2.の会員権相場はRM16万前後とのことです。

*1.の会員権は、リゾート内のコンドあるいはリンクハウスの部屋を賃貸する際に、各部屋のオーナーが賃貸人への「会員権の名義書き換え」手続きをします。

数日でメンバーとなり、夫婦2人が好きな日にプレーすることができるようになります。(ゴルフ会員権名義書き換え料はRM1000で部屋の賃貸期間中は全期間有効です)

*月会費はRM138で、自分のバッグをトロリーに載せ、歩いてラウンドすれば料金は一切かかりません。日本人を含めて毎日ゴルフをやる多くのシニアは元気に歩いてプレーしています……足腰も強くなり「体も懐も健康」になります。毎日やったからといってゴルフの腕前は上がらないようです。(私の言い訳にすぎませんが…)

(ゴルフカート使用料は9ホール1台RM30です。キャディは原則いません)

*ゴルフ場にはレストランがあり、1プール、テニスコート2面、バスケットコート1面、池に向かって打つドライビングレンジやフィットネスルームも併設されており会員は無料で使用できます。



18番FWとクラブハウス



ゴルフ場のプール



10番スタート地点

*短期ステイを希望の方は、ゴルフ場が経営する「メルスイート」に連絡し、希望の期間を申し込みます。

詳細は下記のペギーさんにメールや電話で気軽にお尋ねください。

ただし、冬場は申込者(ほとんどシニアの日本人)が多いため順番待ちのようです。

*「メルスイート」連絡方法(MERU VALLY RESORT HOMES SDN BHD)

- ・日本人担当：Peggy Wong
(通称ペギーさんは日本語の読み書き会話が堪能な女性です)
- ・メールアドレス：merusuites@meruvalley.com.my
- ・電話：(60)16-561-7538
- ・住所：Jalan Bukit Meru,30020 Ipoh,Perak, Malaysia

*長期賃貸は別の斡旋業者がいますので、その件もペギーさんにお尋ねください。

私たち夫婦の一日

私は5時すぎに起床し、7~10時ころまで夫婦で9ホールを歩いて健康ゴルフ(週1日はゴルフを休み、アップダウンのあるリゾート内を1時間ほどウォーキング)、帰宅後、昼食までネットやメール、FB、スカイプ、午後は夫婦勝手にのんびり時間で、私は昼寝しながら読書と週一のお遊びマージャンと卓球。

妻はフラやウクレレの練習、陶芸、手芸、卓球、電話(国外通話も格安)でおしゃべり。

夕食後は読書やTVでゆったりタイム。私は10時前後に「おねむ」、妻の就寝時間は??

月に数回10人前後で夕食を一緒します。旨くて安い中華料理が多いです。

ビールなどのアルコールは飲んだモノ払いとし、料理代は人数割りです。(食いしん坊の私たち夫婦は絶対割り勘負けしません)

料金は1人約RM20~30でバラエティーに富んだおいしい中華を堪能できます。

週1~2回買い物ついでに行くお昼のメニューはRM4~5の経済飯。(お皿に盛られたパサ

パサご飯の上に、20種以上のおかずの中から好きなものを3~4種チョイスするもので栄養バランスが良くローカルの方々にも人気です)

またRM4程度のワンタンミーや冷やし中華、坦々麺、焼き餃子もおいしいですよ。

食後にはRM4のアイスカッチャン(ピーナツや甘いうずら豆ほかいろいろ入ったかき氷)甘党の私にはこたえられません。(ウツメーな!)

夫婦の決め事

朝の「おはよう!」は結婚後40数年続けていますが、リタイア後に私から妻に申し入れて始めたことがあります…妻は大喜びです。

*夫の役割

朝食のセット……パン、ジュース、バナナとドライプルーンを入れたヨーグルト、挽きたてのコーヒー 2. 食後の食器洗い 3. ゴミだし 4. 外出時の運転

*妻の役割……その他全部 妻はタイヘンだね。ありがとう!

ある日、これを友人に自慢げに話したところ「そんなの当たり前」と軽く言われました。

ひと月の生活費

*イポーでの生活費は妻に聞くとざっとRM4000~5000のようです。

(家計簿をつけていないので正確にはわからないそうです)

*日本の家の維持費(ネット、電気、健保、医療費、税金、帰国時の生活費、旅行代等々)

*マレーシア往復航空券代 15~30万円

(年2~3回格安航空エアアジアのプロモーションを利用して帰国します)

ペナンLS中のW夫妻が「2008年秋季号」で報告していましたが、諸物価が安い南アジアで暮らしていても、ゴルフをやり、旅行をし、友人と食事を楽しむ等々、それなりの生活を維持するには厚生年金だけでは厳しいかもしれません。

日本に持ち家があり、海外でLSするのは海外に別荘を借りているのと同じことです。

とくに日本の家の維持費と航空券代はばかになりません。

おこがましい言い方で恐縮ですが、LSを計画されている会員の皆様におかれては資金計画を十分に立ててからLSされることをお勧めします。

イポーにお越しの節はお声掛けください。お待ちしております。

拙文が皆様の快適なLS生活の一助となれば幸甚です。

憧れのペナンロングステイ

関東甲信越支部 No.1681 田端 勉

ロングステイのきっかけ

海なし県で底冷えのする埼玉で生まれ育ち、魚釣りが大好きで寒がり屋の私は、かなり以前から海のある暖かい居住地に憧れていた。50歳代に千葉県勝浦市に戸建を買い、定年後は静岡県伊東市にそれを買換えて時折居住をしたものの、暖かさという面では満足感が得られなかった。

そのような折、新聞で「ロングステイフェア」の広告が目に入り、何も予備知識がないまま当日入場した。事前申込みをしなかったのでセミナーには参加出来ず、旅行会社を中心に説明を聞いた。その結果、マレーシアはテレビで見たこともあり、暖かくて治安も良く、英語も通じるし(私たちは英語を話せませんが)、物価も安く暮らしやすいと聞き、取り敢えず挑戦してみようと思い、ロングステイ下見ツアーを申し込んだ。

マレーシアの下見ツアー

夫婦で海外旅行をすること自体が初めてである。空港で参加者の顔ぶれを見て、海外旅行に精通しているような人の後についていくことに決めた。この時から、海外では何かと不安になることが多いので、分からないことは積極的にこちらから尋ねることの必要性を強く感じた。

最初の訪問地のクアラルンプールでは、日本人会やマレーシア観光局の方々から、ロング

ステイの留意点やMM2Hビザなどの有益な情報が得られ、電車の乗車体験やマーケット見学などもさせていただいた。

街中のコンドミニアムは、どの部屋も120㎡前後ありプールやジムのあるすばらしい環境に目を見張った。

私達にはとても手が届かない賃貸料だったが、郊外に行くとそれなりの料金もあるということも耳にした。クアラルンプールはビルが乱立する大都会であり、かなり蒸し暑く、歩行者のために停止する車は一台もなく、道路の横断には相当の度胸を必要とした。

次の訪問地イポーへはマレー鉄道を使ったが、3時間遅れで発車・到着した。海外では時間の遅れは日常茶飯事だと聞いていたが、大らかな気持ちで暮らすことの必要性に加え、定年後の自分の人生に対してもその重要性について考えさせられる一コマであった。

ホテルのレストランはイスラム教系らしく、酒類が置いてなかった。翌日は、ゴルフ場とその近くのコンドミニアムを見学したが、外のざわめきを聞いて、気軽に部屋の中を案内してくれるロングステイヤーの方もいた。ゴルフ好きの人には絶好の場所だという。しかし私はあいにくゴルフをしない。

3番目の訪問地はペナン島である。現地でロングステイしている方々と昼食を共にする機会があった。

この時、隣あわせた本会員の池田ご夫妻に名刺をいただき、これがきっかけで、この先ロングステイを決断する機会を得た。

宿泊ホテルは街の中心から離れた景色の良いタンジュンブンガ地区のビーチサイドだ。海があり陽は強いが湿気はさほど気にならない。木陰は涼しく風が海を渡るせい心地よい。近くで漁船が漁をしているので釣りも出来そうだ。1.4RM(当時1RM=約31円)の乗合バスにも経験乗車した。食事が出来る屋台があらゆるところにあり、品数豊富でしかも安くて美味しいので外食には困らない。ペナンが気に入った。

その4ヶ月後に、一般ツアーで再びマレーシアを訪れた。ペナンの第一印象の確認と、他にも適在地があるかを調べたいと思ったからである。

訪問地はクアラルンプール、マラッカ、キャメロンハイランドそしてペナンである。下見ツアーと一般ツアーでは目的が違うので参加者相互のロングステイの情報交換は出来なかったが、訪問地にはそれぞれ特徴があり、自分たちの生活スタイルで居住地を決めるのが適切だと判断した。ペナンで池田ご夫妻に再会する機会を得て、マイカーで街中を案内していただき、ペナンでのロングステイにチャレンジする気持ちを固めた。

ホテルで短期滞在

その半年後、夫婦単独でタンジュンブंगाのホテルに20日間滞在し、コンドミニウムの下見と長期間の生活対応力を試した。ホテルと飛行機の予約は現地のC旅行会社を通して行ったが、一番の不安はLCC空港での乗り継ぎだった。他の乗客の後をついて行ったが結局迷ってしまった。

警備員に「Where is the passport check?」と聞いたら、指さしてくれて何とか入国審査を通った。ところが今度は国内線への乗換えが分からない。警備員の女性に「Where is the Airasia checkin counter?」と聞いたら、カウンターまで連れて行って受付者に声をかけてくれた。外国でのこの親切は本当にありがたく、マレーシアは特にそのようなことが多いということも後で知った。その後も警備員は色々話しかけてくれたが、「サンキュー」と「OK」しか返事が出来なかったにも関わらずお互い笑顔で別れた。

同じ場所で滞在期間が長いのは気持ちに余裕が出る。路線バスでマーケットまでの距離や品数・値段を知ることも出来るし、島内一周や地理感覚の醸成も出来る。現地で車を持つ余裕がない私たちは、利便性と環境性を両立するこ

とが出来ないので、環境性を優先することに決めた。そこで気に入った地域を歩いて、適当と思われるコンドミニウム名をメモした。

ホテルは朝食付きで、昼・夕食は場所と内容を替えて外食をしたが、いずれも飽きてしまった。やはり長い海外生活では時折日本食が必要だと思った。池田さんご夫妻から、突然「タイへ行ってみるかい?」と持ち掛けられ、マイカーで陸路タイのハザイまでドライブした。

思いもしない旅行先国からの初めてののしかも陸路での他国への出入国に感激した。大陸では日本では考えられない他国間の往来があり、ロングステイはこれらが幾様にもそして安く出来ることを知ったのは大きな成果だった。コンパクトな釣り具を持って行ったので、ホテルの前で投げ釣りをしたが、日本名の「いしもち」が結構釣れた。場所を替えれば日本では見られない大きな「きす」が釣れるという。私にとっては十分過ぎる釣り場に期待が膨らむ。

本会への入会とコンドミニウムの契約

平成26年4月に、池田さんに勧められていた本会に入会した。東京のサロン会で、皆さんが個性豊かに海外を飛び回った豊富な有益情報を交換し合っているのので、私たちはとても参考になる。

そこでペナンにロングステイされている高木さんご夫妻を紹介され、趣味が共通していることに期待が膨らんだ。コンドミニウムを探して契約するには訪べが必要で、宿泊と飛行機の同時予約が必要だ。高木さんの紹介で、日本人の山中さんが経営する民宿にメールでお願いしたら、「いつでも何泊でもどうぞ」と返ってきたので大変助かった。

しかしパソコン不慣れな私のAir asiaの飛行機予約は大変だった。画面の展開が遅いのに加え、間違えて入力するとエラーの指摘がされないまま次の画面に行かないし、一定の時間が来るとタイムオーバーでまた始めからやり直しになってしまう。電話もしずらかったし、やっ

の思いで予約出来たが、航空運賃の安さを求めるには今後も耐えることと慣れるしかないと考えざるを得なかった。

同年11月の訪ペでは、ペナンの渡邊支部長にお会いする機会を快く受けていただき、到着日にお宅にお邪魔してコンドミニウム探しの要点や生活情報、日本のテレビ受信や電話・タブレットなどについてお聞きした。

また、サロン会への出席のお誘いいただき、長く滞在されている皆さんから生活状況を幅広く聞くことができた。帰国前日にも会の有志から夕食のお誘いがあり、この時も、日本から持ってきた方が良いという、調理具や食器などの情報を提供していただいた。

皆さんが日本のそれぞれの地域に住んでいて、それまで顔を合わせたこともなかったのに、南国暮らしの会を通して、現地で共通する情報を忌憚なく披露して少しでもお互いが有利に、そしてそれらを通して楽しく絆を深め合っていることの素晴らしさを感じ取った。

コンドミニウムは、現地の「費用はかかるが、それなりの仕事をする会社だ」と聞いていたL社に希望する地域や設備などを指定しておき、数か所探してもらっておいた。結果としてこちらが指定したコンドミニウムには気に入った物件がなく、L社が独自に探してくれた素晴らしい眺望の3ベッドルームを一年間契約した。日本の自家の都合で一年の継続使用が出来ず、日本との往復を繰り返すので非合理ではあったが、ロングステイを前進させようと判断した結果である。

マレーシアのコンドミニウムは、部屋一つひとつにそれぞれオーナーがいるので、「コンドミニウム探しには良い大家を選べ」ということを何回も聞いたので、L社から、この大家さんは約束事の不履行事例がないと聞いたのも即契約の参考にした。また、同時にL社を通してMM2Hビザの申請を行うことにした。



自宅のコンド



コンドからの眺望

1か月のロングステイ

平成27年2月、待ちに待った日本の寒さからの脱出と南国暮らしの開始である。

コンドミニウムにはそれなりに調理具や食器が常備してあったが、到着日から数日間はコンドミニウムの掃除や日用品・食料品の買出しに費やした。予めスケジュール化されていたのは船釣り、バーベキュー、うどん教室、菜園である。

うどん教室は、高木さんの発案で日本人学校



日本人学校



うどん作り

の校長先生から快諾をいただき、4年生を対象に家庭科の一環として父兄も交えて行うとのことで、私たちは助手として参加した。

子供たちは真剣にしかも興味深く受講してくれた。終了後は記念写真を撮り、後日子供たちから感謝の作文をもらったが、定年後に少し覚えた技能でこんなに喜んでもらえるのかと感激した。これを機に、高木さんはペナンでうどんを広めることに期待を膨らませている。

また、学校で野菜作りや果物の植栽にも取り組んでおり、これらは私の趣味と共通するので、今後もぜひ一緒にやりたいと思っているし、もしこのような方が他にいらっしゃれば高木さんは大歓迎だと言っている。

釣りは期待以上の「大きす」であった。中でも大きい物は手で掴みきれないほど太く、シンプルな仕掛けと大きな餌にも関わらず8人で200匹程釣ったであろうか。刺身(糸作り)とべっ甲漬けにしたが絶品だった。釣り好きな私のために計画と同行をしていただいた会員の皆様に



魚釣りを楽しむ

感謝したい。

他に1回だけしか釣りが出来なかったが今後に期待が膨らむ。

バーベキューは会員以外の方々の参加も多く、役員さんが予め用意してくれた料理に舌鼓を打った。ペナン支部に入会もしたので、次回からはぜひ協力をさせていただくつもりだ。

時間に余裕があるときは、独り占めのように空いているプールで過ごした。腰痛でバタ足の出来ない私は、クロールは手だけで泳ぎ、脚を極力上げるようにして水中歩行をしながら、手足の筋肉の低下を防いだ。ゴルフが出来ない私は、当初、時間が余ってしまうかとも思ったが、その様な心配はなさそうだ。そして私の大きな課題は、コンドミニアムの賃貸料の低減化と往復旅費の削減である。

以下に、たった1か月のペナン滞在であったが、あくまでも個人的感想として列挙したい。

- ①趣味などの目標も大切だが、南国という気候や風土、食事への対応力が必要と思われる。
- ②物価が安いと聞いたが良いものはそれなりに高く、日本より高いのも結構ある。衣料を日本の夏に買いためしておくのは良い案だと思う。
- ③日本食もそれなりに作れる。日本にしかない食材・調味料などは持参した方がよさそうだ。
- ④日本の出来事が入手できる環境づくりも必要であろう。
- ⑤折角海外で生活するのだから、現地の人との接点づくりをぜひしたいと思う。
- ⑥コンドミニアムの借用にあたって、備品をダメ元で要求した方がよい。
- ⑦現地と日本を比較しても意味がない。

なお、オーナーの承諾をいただいたので、バス停から150Mで浜辺と隣接している民宿を記載させていただくので参考にさせていただきたい。(2015.3現在の朝食付き1泊料金は100、110、120MRMです)

●渚 亭

6 Medan Tanjung bungah 11200 Penang
Malaysia

Eメール：yamanaka9999@gmail.com

電 話：+604 890 5231

携 帯：+6016 434 6325

以上

マレーシアジョホールバルの最新情報

九州支部 No.1651 田中 節子

ジョホールバル(以下JB)はマレーシアの最南端、ジョホール水道を国境としたシンガポール(以下SG)のお向かいに位置するマレーシア第二の都市です。

夫と私は1998年から3年間この地に駐在しました。大好きな土地で、まず食べ物がおいしくシンガポールにも近く物価も安く比較的安安全でとても楽しく暮らした思い出ばかりです。

今回のマレーシア特集のために、現地の友人の助けも得て最新のJB情報を記してみます。

1. JBとはどんなところ

JBはコーウズエイと呼ばれる橋を国境としてSGと接しています。下の写真の左右奥の黒い鳥影がSGです。ほぼ赤道直下の亜熱帯雨林気候ですが風があり意外に涼しく過ごせます。雨期は11月から2月くらいでその間は日に一度スコールが来て20~30分、たまに1時間ほど激しい雨を降らせませす。雨期と言っても日本の梅雨



のように長く雨が降ることはほとんどありません。雨が降ると涼しくなるので現地の人は喜んでいます。一番暑いのは4・5月、過ごしやすかったのは8月だと記憶します。暑さにさえめげなければ年中ゴルフを楽しめます。

マレー系60%、中華系30%、インド系10%というのが人口に対するあらましの比率です。国語はマレー語ですがそれぞれの民族の言葉も用いているうえ英語はほぼ全域で通じ、これが私たちのマレーシア生活を楽しにした大きな要因です。

さらに非常な親日国家で人々も日本人に好感を持ってくれているので。滞在中日本人であるが故の不快な思いをしたことは一度もありません。

車は左側通行など旧宗主国英国と、さらにオーストラリアとも関係が深いようです。宗教はイスラム教ですが多民族国家であるが故に個人の信教は自由で、街なかではそれぞれの寺院があちらこちらにあり、朝はアザーン(イスラム寺院からの朝の礼拝呼びかけの声)で起こされます。

通貨はリングgit RMで1RM≒33円(平成27年2月7日現在)、人口140万人ほど。以下、本文中の金額はリングgitを日本円に換算しています。

2. JBへの行き方

日本からクアラルンプールへ飛び、国内線でJBのセナイ空港へはいきます。セナイから市の中心部まで高速で30分程度です。バスもありますがタクシーの方が便利です。この方法が一番



JBの市街地

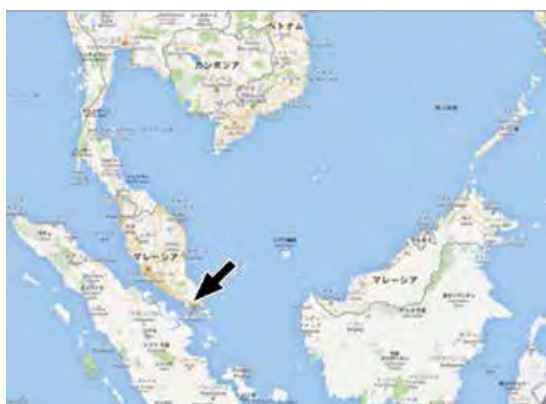
分かりやすいのですが、様子が分かり、交通に慣れると日本からSGに飛んでJBに入る方法も便利です。これを最初にお勧めしないのはチャンギ(SG空港)からJBへ入るのがややこしいからです。おまけにコーズウェイの混雑が、特に最近では並ではなく、時に3時間もかかることがあります。JBに足場ができたならこの方法も簡単になるので、またその時にお考えください。

3. JBでの過ごし方

JBは観光地ではないのであまり観光するところはありません。青と白のきれいなモスクや公園、高速で出かける陶器の街イルヒタムやかの有名なマラッカ程度です。週末はゴルフカショッピングモールへ行くかSGへ行くかで過ごしていました。

ゴルフ場は市の中心部から車で30分以内10ほど、1時間以内なら上記のようにたくさんあります。プレイフィアは3千円程度からです。

モールはこれで成り立つのかと思うほどたく



矢印がJBの位置:マレー半島先端



黒点がJBのゴルフ場 薄網の島はSG

さんあり、最近はおしゃれなモールも増えました。米系のプレミアムアウトレットも出来たのでブランド品も買えます。

SGへは高速バスで100円程度、混雑がなければ40分で行けます。一旦住むと様子がわかりSG行きも簡単になるので、JB滞在中はホテルでのハイティーだけを目的にSGに出たりしていました。

スーパーは日本人がよく利用するJUSCO、ローカルのGiant、英系のTESCO、香港資本のコールドストレージなどあります。JUSCOである程度日本のものは買えますし、その他のスーパーにも日常必要なものは大抵揃っています。日本のものは高いのですがイギリスやオーストラリアの品は日本で買うより安いようです。

4. JBでの生活費用

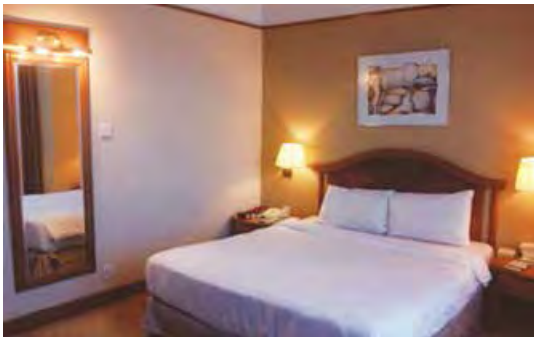
JBでの長期滞在を考えた時に一番気になるのは生活費だと思います。

私達が住んでいた頃は日本の物価の3分の1程度でしたがその後かなり上昇して現在はせいぜい2分の1程度ということです。その頃とその他の状況も変わっているのでここからは現在JBに住んでいる友人による情報を交えます。

JBにもコンドミニアムは多いのですが残念なことにはほとんど1年以上の契約です。1年以下の滞在ではホテルを利用することになると思います。私達も帰国後たびたび訪問していますが、



ブルーウェイブホテル:リビング



ブルーウェーブホテル：上から・寝室・キッチン・朝食レストラン

その時はホテルのキッチン付きの部屋に滞在しています。ホテルはさまざまですが日系のブルーウェーブホテルで一部屋1泊7千円程度です。

JBはバス以外に公共交通機関がないのが弱点です。高速道路は非常に発達しているので車があればとても便利なのですが、レンタカーとなると米系が一番高く、日系でひと月9万円、ローカルで5万円くらいです。ただしタクシーが安いのでいつも利用している友人も多く不便はなかったようです。初乗り100円程度で3円ずつ上がります。流しには乗らず街なかのタクシースタンドやホテル・モールの前で乗るか電話で馴染みの会社から配車してもらっていたようです。

コンドミニアムは、年契約でのひと月の家賃は平均的な2LDKで7～10万円程度。新しい

コンドはもっと高くなってきているようです。

以下は友人夫妻のひと月の生活費の例です。(飲酒なし、家での食事がほとんど)

家賃・4万5千円(知り合いに家を借りている)、光熱水道、TEL、アストロ(TV)、等・1万6千円、ガソリン1万3千円、食料品5万円、ゴルフ(月に8～10回)2万5千円などで、およそ15万円プラスアルファということです。が別の友人夫妻はコンドミニアムに住みお酒が大好きで夫婦でゴルフを楽しみ月25万円程度ということなので、生活の仕方ですいぶん変わります。

光熱費は安いです。クーラーをよく使う家で6千円～1万円。ほとんど使わない家では1500～2千円。飲料水も安く18Lのタンクで250円。キッチンのガスはプロパンが多く4か月ほどもつタンクで千円弱です。

5. JBの犯罪

滞在中の3年間、私達は一度も危ない目には会いませんでした。犯罪としてよく聞いたのは2人乗りのバイクによるひったくりです。日本人でこのひったくりにあった人もいます。当時JBにあった日本領事館から危険情報が流されていたのですが、夜間ホテルの近くだからと両替に行って帰りにそのまま脅し取られたケースも聞きました。ただ、一般的な海外での最低限の注意事項は守って行動すれば大丈夫かと思います。

ちなみに両替は街なかにはたくさんあり不自由はしません。

ただ現在のJBはマレーシア政府によるイスカンダル計画が大々的に進んでいるので、人が多く流入して犯罪も増えたと聞きます。夜間路地をうろつかないなど自衛はしっかりすべきだと思われます。

6. イスカンダル計画

先ほど出たイスカンダル計画とはマレーシア・SG両政府共同の10兆円規模の大規模開発計画です。ネットで調べればそのあらましがわ

かと思っています。

これによりJBは多大な恩恵を被る一方不便も抱えることになっています。

一番の恩恵は高速道路が張り巡らされたことで、車での移動は飛躍的に便利になりました。投資額が大きいので人も増え、物も集まっています。経済的には潤っていると思われます。高層ビルがさらに増え、マンションの数は以前と比較にならないほど多くなりました。が、そのために物価が上がりました。マレーシアの中では首都KLよりも物価が高いのです。それでもSGに比べると半分ほどのなのでSGからは毎週末人が流入します。そのためコーズウェイの混雑に拍車がかかりました。以前からひどかったのですがさらに長時間待たされることになっています。



コーズウェイ。車で渋滞しています。

SGとの行き来はここと東のセカンドリンクと呼ばれる橋があります。

セカンドリンクのほうはさらなる開発が進んでいて、大規模高級住宅地やコンドミニウムが計画され、イギリスやその他から有名校の誘致も進んでいます。これらのためにコンドミニウムの値段も賃貸料も連動して上がっているようです。日本人も買っているようですが実力以上の値段だというのがもっぱらの噂です。

7. その他

日本の食材は郊外にある大型店JUSCOで買え、その他市の中心部にも小さな食材店があります。韓国系の店もありそこでも日本のノリなど買えます。和食店は多く、最近の和食ブーム

でとても増えました。が、ローカルや中国・韓国人が作っている店もあり、本当においしい和食店は少ないです。

ローカルの食べ物はマレー、インド、中華、どれもとてもおいしく、私達はJBの食べ物が恋しくてよく帰るほどです。

日本人は以前は2千人ほどいたのですがこのところ減ったらしく、日本人会も縮小してしまいました。日本人学校の中に事務所を構えたようです。ただJBに行ったばかりの人はここでいろいろと情報をもらえと思っています。

以上、JBに行って住んでみたい方へ向けて大体の情報を書いてみました。

ただしこれはJB大好きな私の視点から書いておりますので、行ってみてももしかしたら「こんなはずでは…」と思うこともあるかもしれません。

しかしマレーシアの人々は日本が好きですし、「ネバマイン」(きにしない!)の大きなやりかたに慣れると細かいことを気にするの馬鹿らしくなってきます。

是非訪れて、マレーシア生活を楽しんで欲しいと願っています。

マレーシアでLS人生を満喫 (リタイア後の目標設定は大切な?)

KL支部 No.1020 松下 茂

私は1949年1月(昭和24年)丑年に生まれました。今年の1月で66歳になりました。

会社員を39年間務め、57歳の時に早期リタイヤ、1年間失業保険をいただき、海外旅行(カナディアン・ロッキー/カリビアンクルーズ)などを楽しみました。

翌年(2007年)の1月にマレーシアのペナン島にロングステイ5年間滞在2012年にマレーシアの首都クアラルンプールに移動。現在まる3年経ちました。

海外生活が9年目に入る訳けですね。あと何

年海外のロングステイが続けられるか、私の目標は75歳まではいたいのですがどうなりますことやら？

この9年間で何が私のリタイア生活のモチベーションになったかを考えてみました。

それは、この期間に色んな目標を立てて、それに向かって邁進してきたことが大きな要素だったのではないかと考えています。

会社勤めの時代には、皆さん毎年業務計画を立てることを求められ、その数値に頭を悩ませ、ストレスを感じながらお仕事に励んでこられたのではないのでしょうか。

リタイア後はそれを会社からではなく、自分自身で立案することをお勧めします。

何も目標が無く、ただ無駄に時間を過ごすだけでは、大切なこの第二の人生を有意義に過ごすことができないかもしれませんよ。

私は、現在この目標を持って日々の生活を過ごしています。

- ①目指せ！世界遺産訪問100カ所
- ②私が走った世界の100都市
- ③ゴルフ年間100ラウンド以上プレイ
- ④小説100冊読破への挑戦

全てきりのいい数字100で統一し、あくまで目標ですが、何とか達成可能な無理のない数字にしています。

それでは、まず①“目指せ！世界遺産訪問100カ所”ですが、2014年末で訪問箇所が88カ所になりました。

残り、あと12カ所ですので、ラストスパートに入った感じですね。あと2年以内には100カ所の達成をさせたいと意気込んでいます。

2007年1月にロングステイを始めた当時は、日本の世界遺産7カ所とカナディアンロッキーの合計8カ所でしたので、2007年ロングステイを始めてから2014年までの8年間で、なんと80カ所も訪問したことになるんですね。そういえば、毎月のように海外旅行に出かけていたような感じです。家内のパスポートの出入国のス



モンサンミシェル



タージマハル

ランプを押すページがなくなり、ページを増刷してもらったこともありました。

今までのマレーシアでのリタイア生活は、“ゴルフ三昧”と“旅行三昧”ですごしたと言っても語弊がないかもね。

88カ所の中でも、特に印象が残っている世界遺産ベスト3は、マチュピチュ(ペルー)、モンサンミシェル(フランス)、アンコールワット(カンボジア)です。

続いて、グランドキャニオン(USA)、カナディアンロッキー(カナダ)、シーギリア(スリランカ)、九寨溝(中国)、タージマハル(インド)、ナスカ(ペルー)などです。

尚、世界遺産訪問の詳細は私のブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sigma57/14879872.html> を参照してください。

続いては、②“私が走った世界の100都市”です。

この目標は世界の都市に宿泊した際に、夕方もしくは早朝に30分程度のジョギングを行うも

のです。これも、現在の達成都市の数は35か国の88都市なんですよ。

それでは、ここで走りにくい都市ベスト5の発表です。①ニューデリー(インド) ②カトマンズ(ネパール) ③ジョグジャカルタ(インドネシア) ④ビエンチャン(ラオス) ⑤ヤンゴン(ミャンマー)です。

特に思い出がある都市はインドのニューデリーです。この都市は走れる環境では無い。歩道はないし、車、車、信号、人々でまともに走れない。走っていると、不思議な人を見るようなインド人特有の鋭い目でにらみます。発展途上国のジョギングは命がけの覚悟が必要かも？



ニューデリーの街中

それに引き換え、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国は公園やジョギングコースが整備され、快適に走れますね。

このジョギングで国の経済発展のレベルがその国の都市を走ると明確になるということを見ました。

これも体が健康でなければ達成できない目標ですね。日頃の筋トレ、ジョギングに頑張っている結果かもしれませんし、健康な体に生んでくれた両親に感謝です。

つぎは、③ゴルフ年間100ラウンド以上プレイですが、これはマレーシアにロングステイして以来毎年の目標としてきました。

それでは、私の毎週のマレーシアでの生活ルーティンのリズムをお知らせしましょう。

	午前中	午後
日曜日	教会へ	ブログUPと読書、お昼寝
月曜日	ゴルフ18Hプレイ	お昼寝、夕食作り
火曜日	ゴルフ9Hプレイ	ブログUPと読書、お昼寝
水曜日	ゴルフ18Hプレイ	お昼寝、読書
木曜日	ゴルフ9Hプレイ	ブログUPと読書、お昼寝
金曜日	ゴルフ18Hプレイ	お昼寝、夕食作り
土曜日	ジムにて筋トレ	お昼寝、読書

毎日、汗をかいている感じですね。これが健康の素かな？

65歳をオーバーしている体には、ちょっと無茶なリズムかもしれませんね。

まあ、体のどこかがおかしくなってきた時とか、疲れが残っているときは火・木曜日はゴルフお休みにすることにしています。

だけど、こちらでリタイア生活している方のほとんどが週に3回のラウンドは当たり前ですよ。皆さん日本でいる同年代の方に比較すると10歳は若く見えるのは当然かもしれません。

2014年のラウンド数は18Hプレイが84、ハーフ(9H)プレイ43の実績でした。



スタフィールド カントリー リゾート



クラブハウス

通算すると、やっと100ラウンド達成と言うところですね。

この間に日本への帰国、近隣諸国への旅行などを楽しんでいますのでこの数字も仕方ないかもね。

マレーシアでは、18Hプレイのゴルフ代金は、コースのメンバーですとRM30～RM50(1000円～1500円)、ビジターですとRM70～RM120(2100円～3800円)程度です。

9Hのプレイは、手引きのカートを使用している歩いてのラウンドですので、メンバーは無料なんです。

この料金ですし、平日は予約も無く出かけてもプレイ出来るというお手軽さですのでマレーシア以外ではゴルフは一切しないことにしています。

ゴルフ天国とはマレーシアのことかもしれませんよ！

最後は、④小説100冊読破への挑戦です。

この目標は、今年初めて設定しました。2015年1年間で100冊？、月間に8冊～9冊を読まないで達成できない計算になります。

連日のゴルフ、旅行、日本帰国と忙しい毎日ですが、何とか達成できなくても目標に近い数値で年末を迎えられるように頑張りたいと思っています。

マレーシアでそんなに日本の小説が読めるのかと、皆さん不思議がるかもね？

何故読めるのかと言いますと、KLには日本人会の建物の中に、図書館があるんです。日本の地方の街の図書館に匹敵するほどの大きな規模で設置されているんです。

1月～2月にかけての読破実績ですが、すでに22冊は読めました。予定よりいいペースで読破できています。

書籍の内容も私のブログに詳しく出ていますので参照してみてください。

リタイア後なのに、なんで好き好んでこの様



KLの日本人会館



図書館

な自分自身に、きびしい(?)目標を立て生活していく私に、周りの人は、“ストイック”すぎるというかもしれませんね。

だけど、この目標があったから今まで頑張れたのかもしれないです。

9年目のマレーシアのロングステイ生活に入りましたが、ますますエンジョイした日々を送っています。人生65年以上生きてきましたが、現在、今、この時間が一番充実した毎日かもしれません。それとも、今後がもっと素晴らしい未来が待っているかもしれないですね。人生、まだまだこれからですね。

それでは皆様の第二の人生をお元気で楽しく送られん事をここ南国のマレーシアから祈願いたしております。



マレーシアに家を買った
関東甲信越支部 No.1660 北村 裕志

1. なぜ海外に住もうと思ったのか？

我々夫婦はまだ現役サラリーマンです。定年までそろって3年ほど働く必要があります。60歳になったら、さっさと仕事をやめてゆっくり暮らしたいと思う反面、年金が出るまで3年間をどう過ごすかという課題を解決する必要があります。その上、老後を年金だけで暮らすことへの不安もあります。年金だけで今住んでいるマンションのローンを払いながら管理費も払うのは不可能ではないが、余裕は全くないなと思いました。

2012年、妻が少ない年金でも悠々自適の生活が出来るという本を買ってきました。そこに書いてあるマレーシアのMM2Hというロングステイヤー用のビザに目が釘付けになってしまいました。

2012年8月に夫婦で初めてマレーシアの首都クアラルンプール(KL)に出かけました。それまでは、毎年正月か春休みはシンガポールで過ごしていました。インド料理が大好きな我々夫婦は、インド人街に入り浸り。しかし、シンガポールの物価上昇がそれも難しくしていました。

一方でマレーシアの物価の安さは正直衝撃的でした。インド料理を夕食に買ってくると夫婦2人分で600円そこそこ。それでも量が多いので翌日に持ち越しです。マレーシアなら住んでも良いかなと思いました。



インド料理が安い

そこで情報収集に努めました。「マレーシア良いところ、一度は…」というマレーシア信仰ではなく、ニュートラルな情報を手に入れられないといけないと考えました。

その後、2013年4月にロングステイアドバイザーの資格を取得しました。ロングステイ財団の資格取得講座は、ロングステイに関する知識を構造的に習得するには最適な講座と思います。必要な情報をもれなく知る機会が与えられます。3万円の価値はあると思いました。

2013年11月のロングステイフェアで、南の会と出会いました。と言ってもブースを見つけたのは妻でした。妻は、以前から南の会の存在を知っており、その場で入会しました。ですから、会員番号1660の会員名は妻になっています。ここではじめてマレーシア以外のアジアの国のロングステイについていろいろ知ることになります。

2. なぜマレーシアなのか？

物価の安さは魅力ですが、それだけでは他にもロングステイ先の候補はたくさんあります。

第一の理由は、長期滞在ビザ取得の条件が他の国に比べて抜群に良いという事です。オーストラリアやシンガポールは、相当の富裕層でないと無理ですが、マレーシアなら普通のサラリーマンでも何とかできるレベルです。特に収入や資産を夫婦合算できるので、共働きのご夫婦なら条件を満たせると思います。その上、10年もの長期のビザが更新可能だというのは破格に思えました。マレーシアの長期滞在ビザ(MM2H)を取得する上で重要な点は、現役のうち取る事です。退職後は、収入の証明が難しくなります。

第二に、社会インフラが適度に備わっていることです。失礼な表現をお許しいただければ、途上国以上先進国以下で心地よいレベルです。便利さ故のストレスというものを考えると、便利すぎないのも良いと思います。

最後に英語が“適度”に通じるということです。

一方で英語は、現地語ではないので、片言の英語でも気楽です。そして、現地語の文字がアルファベットなので、文字を新たに覚える必要がないのも良いですね。

一方で、良い事ばかりではないと思います。例えば日本はどちらかと言うと仏教国です。仏教徒でなくても仏教のしきたりは大体わかります。マレーシアの国教はイスラームです。宗教を考えるとタイの方が理解しやすいですね。ほとんどの日本人は歴史を含めてイスラームの知識が豊富とは言えません。大体、高校で習った世界史はキリスト教国から見た世界観のような気がします。そこで2014年から15年にかけて、放送大学でイスラームについて勉強してみました。これは目からウロコで、興味のある方は、ぜひ放送大学の放送授業「イスラーム世界の歴史的展開」(45分×15週)を見てください。テレビを見るだけなら授業料は要りません。

3. なぜ家を買うことにしたか？

海外での年金生活を考えるとき、次の2つの経済的リスクを考慮する必要があると考えました。現地のインフレリスクと円安のリスクです。どちらも年金の実質価値が減ってしまいます。これをある程度回避するには住居費を固定する必要があると考えました。一つの回答は、家を購入することです。自分たちが住む家なら値下がりしても、ローンが無ければそれほど問題になりません。それに、不動産の保有コストは日本よりずっと低いです。後になって、買った家が気にいらなくなれば、買い換えるなり貸すなりすればよいのです。

4. なぜコンドではなく戸建なのか？

2012年夏から13年は、KL近郊のコンド群を見て回りました。そこで気がついたのは、現地の建築技術が日本とは大違いで、築後数年でくたびれたようになってしまったコンドをいくつも見ました。ショッピングセンターなどの商業物件もしかりです。壁にヒビが入ってい



閉鎖されて廃墟と化した集合住宅

る建物も結構ありました。

これは想像ですが、多民族国家のマレーシアで管理組合的なものがいつも機能するとは思えません。日本でも問題になるくらいです。従って、ただでさえ経年劣化が早く進む建物を計画的にメンテする事は難しいのではないかと考えました。資産価値維持の観点から戸建、セミデタッチ(二戸一)、リンクハウス(長屋)の方が自分で管理・修繕できるはずです。

5. なぜイポーなのか？

2013年10月25日、マレーシア政府は突然、外国人が購入できる不動産の最低価格を50万リンギから100万リンギ(約3,300万円)へ上げることをアナウンスしました。実施は、2014年1月からと急な話です。その後、9月にはKL近郊のセラゴール州は200万リンギ(6,600万円)に上げました。これでは退職後に東京のマンションを売ってからのしか家の購入は無理です。それもKL郊外は不可能。大体200万リンギなどと言う高額物件は一部の富裕層向けを除いて見たことがありません。一方で、KL市内は高くても無理。ああ、これで退職前にマレーシアに家を買うというプランはついでたと思いました。

2013年11月のロングステイフェアで、イポーのあるペラ州はいまだに35万リンギと書かれたのぼりを見つけました。ロングステイ財団のイポーサロンをしているハイビスカス社のブースでした。外国人もMM2H(マレーシアの長期滞在ビザ)を取得していれば35万リンギが最低価格と

の事。早速イポーについて調べました。中国系の住民が多く、美食の街として知られ、温泉もある。我々夫婦はゴルフをしません、有名なリゾート型ゴルフ場があり、KLからも多くの日本人が週単位でコンドを借りてプレーをしにやってくる。我々のイメージはそんなものでした。

話は少々戻りますが、我々夫婦は2012年11月頃からMM2H取得の活動を始めました。13年3月初めに仮承認を得、3月末には銀行口座を作り、夏は本申請の為KLへ飛びました。MM2H取得後は、夏休みの殆どをKL近郊のコンド探しにあてました。

そうして、2013年12月26日に再度KLへ飛びました。目的はイポーでの家探しです。事前に中国系マレーシア人の友人に知り合いの不動産屋を紹介してもらい、イポーでの案内をアレンジしてもらっていました。

6. 運命の出会い

2013年の年末、初めて訪れた街で家探しをしました。何と無謀な!と自分でも思いました。4つの住宅団地(Gated Community というセキュリティ付きのフェンスで囲まれた住宅地)を見て回りましたが、成果はありませんでした。新築なのに、殆ど家の同じところにヒビが入っているという住宅地もありました。3階建てのリンクハウス(長屋)も見ました。その中ではGという団地がとても気に入りましたが、売り物件の家は気に入らないうえに値段が他より10万リングも高かったのです。そこで、G団地内で別の売り物件を探そうということになりました。詳細は、末尾に記述したインターネットサイトに書きましたのでご興味ある方は読んでみてください。

数日後、ハイビスカス社の市内ツアーと忘年会参加の為、再度イポーを訪れました。社長のグロリアさんと昼食を取りながら話をしていたら、とても気に入ったG団地に社長の家があるとの事。さっそくお願いしてもう一度団地内を車でぐるっと案内してもらいました。



イポーの駅は美しい白亜の建物



購入したイポーの家 — 建物の右側が我が家

突然車が止まると、「ここが私の家です。」と、グロリアさん。すると、隣の家から不動産屋が客を連れて出てくるではないですか。しかもグロリアさんの知り合いです。早速家の中を見せてもらい、値段を聞くと52万リング。安いと思いましたが顔には出さず、「オーナーはいくらまで下げるとするか?」「48万と尝试してみたら?」「OK、48万で聞いてみてくれ!」翌朝電話があり、アイルランドにいるオーナーからの返事は50万リング、但し現金。「買った!」マレーシアに家を買った瞬間でした。4つのベッドルームと3つのバスルーム(シャワーとトイレ)がある床面積190平米の家です。(現金とは、マレーシアの銀行ローンは使えないという意味)

7. 契約と登記に6ヶ月かかる

こうして、2013年の年末に購入の意思表示をしたものの、契約書が締結できたのは、年が明けてだいぶ経った2014年2月14日。州政府の認可が下りたのが4月2日。その後、オーナーの銀行ローンの抵当権抹消(資金は我々が銀行に

払う)、我々の日本での銀行ローンの実行、多額の海外送金や資金移動を経て、登記が完了したのは2014年6月5日でした。やれやれ。どうも、それでも早い方らしいです。契約の為の弁護士の紹介から、種々の契約上の手続きの説明、公共料金などの契約や支払いまで、ハイビスカス社とグロリアさんには大変お世話になりました。

8. 家具と電気製品

買うことを決めてから1年後の2014年末の年末年始休暇で、買った家に初めて行く事になりました。しかしながら、家はアンファーニシュド(Unfurnished)と言って何もついていません。キッチンもありません。トイレはありますが、シャワーは水が出るだけ。かろうじて、キッチンの場所にシンクが宙に浮いているようにあるだけです。これでは家に行っても寝ることもシャワーを浴びることもできません。

そこで、東京にいながら、年末の休みに合わせて、家具と電気製品の購入・搬入のアレンジをするという事にチャレンジしました。難題は家具です。マレーシアでは、ほとんどの家具屋



キッチンではシンクが宙に浮いているだけ



もちろん、家の中に家具など無い



冷蔵庫などの家電製品が置かれたキッチン



主寝室に置かれたキングサイズのベッド

は在庫を持たないようで、注文から納入まで4-8週間かかります。店でモノを見て、気に入ったら「明後日持ってきてね!」などと言う日本式サービスは期待できません。物も見ないで2か月前に日本から半額払って注文し、イポーにいる間にいつ来るかわからない配達を待つような状況です。これは難しいと思いました。幸運にも前述の中国系マレーシア人の友人が新築の自宅用にコンテナいっぱいインドネシアから輸入した家具のうち、使われていなかったベッドルームセットを6500リングで譲ってもらうことが出来ました。輸送と組み立ても彼女の親せきに1200リング払ってお願いしました。

家電製品は、パナソニックのホームページからマレーシアのショップのリストを出して、片端からメールしました。たった1件から返事があり、12月27日の午前11時に冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、それに一番肝心のシャワーヒーターを配達するように頼みました。ハテさて、ここはマレーシア。約束通り来るはずがない。その日に来れば儲けものという国です。ところ



リビング側からダイニング、奥がキッチン



ダイニング側からリビング

がどっこい、10時半にやって来ました。その後、同じ店からエアコンも購入しました。

9. 最後に

イポーの家の住み心地は大変良いです。海外で自宅にいる不思議な落ち着き感を体験しました。ご近所さんとも良好な関係を構築できたと思ってホッとしています。お隣のグロリアさん宅とはもちろんですが、反対側のインド系のご主人からは、早々と昼食のカレーを堀越しにおすそ分けいただきました。何か下町のような感じです。お向かいさんも、街まで車で送ってあげようか?等とご親切。

車がないのでタクシーでの移動ばかりでしたが、イポーの街もいろいろ見ました。さすが美食の街、食べ物は旨いです。チキンライスとモヤシの料理は絶品でした。道路はゆったりと幅広いですが、車はそんなに走っていません。渋滞を見たのは1回だけ、市内中心部で金曜のお祈りの時間だけでした。道がすいているせいか空気はととてもきれいです。しかしながら田舎で

車無しは大変不便で苦労しました。

家のそばに温泉があります。プールがメインの遊園地ですが、その一部が温泉になっています。水着を着て入るのは当然ですが、色々なプール状の温泉があり打たせ湯や洞窟サウナもあります。15分も歩くと温泉に入れるのも日本人にはうれしいですね。

正月明け、東京への帰り際に、上述の友人に車の注文を頼みました。Produaと言うダイハツと提携しているマレーシアの自動車メーカーのAxia(アジア)と言うコンパクトな新型車です。マレーシア資本なので税金が安いのですが、ボンネットの中はダイハツで5年保証付きです。8月にはその車を受け取りにマレーシアに行く予定です。妻は、毎週末ゲストルームに置くベッドやリビングのソファなどの家具を探して、マレーシアの家具屋のインターネットサイトを見て楽しんでいます。

客間の家具が入った後、我々がイポーに滞在中に現地に来られる場合はぜひお声がけください。

最後に我々夫婦の旅行についてご興味あれば下記サイトをご覧ください。イポーの様子や家について、詳しい情報を載せています。

http://www.neuhauswelt.com/2014-15_ipoh_winter/2014-15_ipoh_winter_top.htm

2013年末にイポーに家を探しに行った時のいきさつは下記のサイトで簡単に説明しています。

http://www.neuhauswelt.com/2013-14_kl_winter/2013-14_kl_winter_top.htm



イポーのウエットマーケット

マレーシアお役立て情報

【査証(ビザ)】

I ノービザで入国の場合

日本国籍の方は以下の条件でビザ無し入国が出来る

- ①旅券の残存期間が入国時6カ月以上必要
- ②旅券のビザ欄の未使用ページが2ページ以上、ビザ申請の場合は3ページ以上必要
- ③90日以内の観光、業務、外交、公用目的

II 長期滞在ビザ(MM2H)を取得する場合

- ①10年間有効な長期滞在ビザで期間内何度でもマレーシアに出入国する事が可能
- ②年間の最低滞在日数を満たす義務はない
- ③移民局に認められれば更新可能だが基本的には永住権ではない
- ④配偶者と21歳未満の未婚の子供又21歳以上でも両親の補助が必要な未婚の子供 そして60歳以上の両親の同行が可能
- ⑤申請先は日本ではなくマレーシアのMM2Hセンターとなるが正規の代行業者(代理店)を通じての代理申請が出来る
- ⑥申請から承認迄通常30日営業日程だが申請者は急増中(特に日本人の申請が増加している)で現在は2カ月程度かかっている模様

取得の条件(年齢に制限はない)

〈収入条件〉

50歳未満

- ①RM50万以上の財産証明書と月額RM1万以上の収入証明書
- ②仮承認が下りた後にRM30万の定期預金

50歳以上

- ①RM35万以上の財産証明書と月額RM1万以上の収入証明書又は年金証明書
- ②仮承認が下りた後にRM15万以上の定期預金

その他

無犯罪証明書等の必要申請書類が必要

MM2Hビザ取得者への特典

- ①車の購入 ビザ取得後6カ月以内に限り輸入関税、部品税、販売税を免除されて個人所有の車を輸入、又は同条件でマレーシアの国産車を購入できる(一部の日系ブランド車も新車に限り購入可能)
- ②外国人メイド1名の入国を申請できる
- ③50歳以上の取得者はパートタイム就労が可能

(マレーシア人が出来る事は基本的に許可されにくく日本語教師や技能指導者等は比較的許可がおりやすい。但し、就労許可申請は雇用者が行わなければならない)

【住宅事情】

I クアラルンプール

ここ数年建設ラッシュは落ち着いて来たが未だ多くのコンドが建てられており其の多くは高所得者向けや外国人向け物件である。

中心部や高級住宅地はショッピングセンター等多く買い物等の利便性は良いが住居費は高騰してきていたがここ1~2年は価格も落ち着いてきた。

日本人が比較的多く住む地域を以下に挙げる

・モントキアラ地区(Mont Kiara)

外国人駐在員用に開発された高級住宅地「japanese village」と言われ日本人密集地で2,000人以上の日本人が住んでいると言われる。

日本料理店や日本食を扱うスーパー、日系の店、日本語の通じるクリニックが揃っている。又セキュリティが良く、主要駅や大型SPへの無料シャトルバスも運行されているので近年MM2Hホルダーの人気の高い。

・タマンデサ地区(Taman Desa)

国内最大のSMがあるミッドバレーや日本人会に近く日本人が多く住んでいる。SM内には

イオンもあり惣菜や弁当コーナーがあり単身の日本人に好評である。

築年を経たコンドが多いので家賃も比較的手頃。徒歩圏内にはホーカーズ(屋台の集合施設)や病院もあるので生活がしやすくMM2H持ちの日本人に人気のエリア。

・スバンジャヤ地区(Subang Jaya)

日本人学校に近く日系企業も多い地区だが中心部から離れているので車をお持ちの方にお勧めのエリア。2～3年後にはLRT(都市高速鉄道)の延長が予定されているので便利になる可能性がある。

コンドにホテル、ゴルフ場を併設した高級リゾートエリアもある。

・ハングサ地区(Bangsar)

中心部に近く外資企業に勤める欧米人が多く住む地域で日本の大手企業関係者も多く住む高級住宅地。

周辺道路は慢性的な渋滞が発生するので注意が必要

II ペナン

規模の大きな街だけにホテル、コンド、サービスアパートメントと住まいのチョイスは色々ある。

戸建住宅の賃貸も街中で見かけるが、設備が古くセキュリティーは完備されていないのでプチ暮らしには向いていない。

エリアとしては、ビーチ側、丘側、町中等何処でも住居があるので適当な場所が見つかるはずだ。

空港に近い側にはイオンがありビーチや繁華街には英国系スーパーテスコが出来た為どのエリアに住んでも買い物は便利。

世界遺産に指定されたジョージタウン歴史地区にはサービスアパートメントは無く、シテイホテルが中心。

どのエリアに日本人が多いといった偏りが比較的なく、エリアによる値段の差もあまりない。

III キャメロンハイランド

キャメロンハイランドにはサービスアパートメントは少なく、ホテルかコンドを利用する人が多い。

コンドは沢山あるが都市部で見られる様な高級なコンドは少ない。とはいえどんどん新しい物件が建てられているのでチョイスは多い。

涼しい土地柄の為ホテル、コンド共プールを擁する施設は殆ど無い。避暑地とされており日本の夏を避けてシーズステイする人も多い。

日本人滞在者は郵便局やクリニックのあるタナラタ地区に多い模様だ。

IV イポー

ペナンとクアラルンプールの中に位置するイポーは食とゴルフ好きには応えられないマレーシア第3の街であり最近ロングステイアーに人気の街。

ゴルフ場併設のサービスアパートメントが多く見られるが一つあげると、

(メルスイートサービスアパートメント)

○1カ月～5月カ月滞在の場合

ゴルフパッケージあり

Topseason(11月～4月) RM4100/月

Offseason(5月～10月) RMRM3550/月

○6カ月以上の滞在の場合

ゴルフパッケージあり

Topseason RM 3450/月

Offseason RM3000/月

(ゴルフパッケージは一部屋に付 契約者ご夫婦には無制限のグリーンファイ込み)

【ゴルフ事情】

1年中暖かく冬が無いマレーシアはオフシーズンが存在しないので1年中が「ゴルフ日和」です。約200あるゴルフ場の中には世界の名プレイヤーが設計を手掛けたコースも多数存在します。

3分の1のゴルフ場はKL近辺にあります。KLの場合遠い所でも市内から車でせいぜい30～60分の距離にコースがあります。

一般的な料金(コースの料金の目安)は以下の

通りです。

グリーンファイ ; RM100~250

キャデイファイ ; RM20~40

バギー ; RM40~50

会員権

RM1万5000からRM7万5000位までと幅がありますが終身会員から1年単位の会費制迄システムも様々で詳しくはゴルフ場に確認を。

月会費

RM100~300程度掛かるようです。

KLにある政府職員用ゴルフコースはMM2Hホルダーの特典として会員になる事が出来る。

マレーシアの代表的なゴルフ場はマレーシア政府観光局のHPに掲載されております。

【医療事情】

都市部の病院には、日本語を話せる医師や日本人のアシスタント等が勤務していることが珍しくない。特にクアラルンプールには、日本人医師が務める病院もある。

●KL

パンタイ・ホスピタル

(Pantai Hospital)

住所 : No.8 Jalan Bukit Pantai, 59100, KL

電話 : 603-22833479 (日本語)

電話 : 6016-2723518 (Dr. ラウ)

<http://www.pantai.com.my>

※日本語を話す医師が勤務

グレンイーグルス・ホスピタル

(Gleneagles Kuala Lumpur)

住所 : 282&286 Jalan Ampang, 50450 KL

電話 : 603-42571300 (代表)

電話 : 603-42552789 (日本語診療案内)

<http://www.gimc.com.my>

※日本語を話すアシスタントスタッフが勤務

HSCメディカルセンター・ジャパニックリニック

(HSC Medical Center Japan Clinic)

住所 : 5-1 Menara HSC, 187 Jalan Ampang,

50450, KL

電話 : 603-27120866 (代表)

電話 : 603-27120867 (日本語直通)

<http://www.hsc.com.my/jc>

※日本人医師が勤務

サンウェイ・メディカルセンター

(Sunway Medical Center)

住所 : Jalan Lagoon Selatan, Bandar Sunway,
46150, Petaling Jaya, Selangor

電話 : 603-74919191

<http://www.sunwaymedical.com.my>

※日本人アシスタントが勤務

●ペナン

ローガンライスペシャリストセンター

(Loh Guan Lye Specialists Center)

住所 : 19&21 Logan Road, 10400 Penang

電話 : 604-2388888 (代表)

電話 : 6017-4747915 / 6012-4078080

(日本語対応)

<http://www.lohguanlye.com>

※日本語を話すアシスタントスタッフが勤務

ペナン・アドベンティスト・ホスピタル

(Penang Adventist Hospital)

住所 : 465 Jalan Burma, 10350, Penang

電話 : 604-2227200

電話 : 6012-4921133 / 6012-4097611

(日本語対応)

<http://www.pah.com.my>

※日本語を話すアシスタントが勤務

アイランド・ホスピタル

(Island Hospital)

住所 : 308 Macalister Road, 10450 Penang

電話 : 604-2288222

<http://islandhospital.com>

※日本語の通訳が勤務

ニッポン・サージカル・クリニック

(Nippon Surgical Clinic)

住所：53-A Jalan Rangoon, 10400, Penang
電話：604-2262166
※日本語を話す医師が勤務

電話：6088-211333
<http://www.sabahmedicalcentre.com/>

●イポー

イポー・スペシャリスト・ホスピタル
(Ipoh Specialist Hospital)
住所：No.26 Jalan Raja Di Hilir, 30350, Ipoh
電話：605-2408777 (代表)
<http://www.ish.kpjhealth.com.my/>

パンタイ・ホスピタル・イポー
(Pantai Hospital Ipoh)
住所：126 Jalan Tambun, 31400, Ipoh
電話：605-5484333 (代表)
<http://www.pantai.com.my>

●コタキナバル

サバ・メディカルセンター
(Sabah Medical Center)
住所：Lorong Bersatu, Off Jalan Damai, Luyang,
88300 Kota Kinabalu

以上の情報はマレーシア政府観光局発行 マレーシア「プチ暮らし」と山田美鈴様著「マレーシアで暮らしたい」講談社刊の一部を抜粋し編集したものであり其の内容については各自確認のうえご使用下さい。

なおマレーシア政府観光局では毎水曜日の10時から16時迄マレーシアLSの相談を受け付けております。

マレーシア政府観光局 山田美鈴様(MM2Hコンサルタント)

相談日：原則毎週水曜日10：00～16：00

*メールは随時受け付け、電話、訪問は水曜日のみ(第5水曜日は除きます)

100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4
千代田ビル5階

TEL：03-3501-8694

Website：www.tourismmalaysia.or.jp

e-mail：mm2h@tourismmalaysia.or.jp

訪問希望の方はメールにて事前予約が必要。



支 部 便 り

関東甲信越支部便り

支部長 No.1118 肥後 憲尚

関東甲信越支部の活動を紹介致します。

I サロン会活動報告

毎月開催していますサロン会は7月は台風の中止となりましたが以下の通り実施され226(405)名の方が参加されました。

◇11月

テーマ「南ドイツドイツアルプスの麗ガルミッシュ・パルテンキルヘン4週間」

スピーカー 阿部 昭子さん

テーマ「ベトナムを旅して気が付いたこと」

スピーカー 関口 幹二さん

・グループ別情報交換

◇12月

テーマ「バリ島海的生活術」

スピーカー 小林 繁之さん

テーマ「タイ国内のチェンマイ・バンコク以外のLS候補地」

スピーカー 寺田 光江さん

・グループ別情報交換

◇1月

テーマ「ダバオってどんな所」

スピーカー 龍川 清人さん

テーマ「世界各国珍道中の体験談」

スピーカー 大野 悦子さん

・グループ情報交換

◇2月

パネルディスカッション

テーマ「ロングステイを夢見て…あれから◎◎年…」

〈パネラー〉

高田勝弘さん 肥後憲尚さん 大野京子さん

長谷川愈晃さん 青木一義さん 青木方子さん

・コーディネーター 大塚真一さん

◇3月

テーマ「一人旅で思った事」 平澤 信さん

フィリピンの観光と最新事情

フィリピン観光省セクションチーフ

横山 泰彦 様

・グループ別情報交換

情報交換会ではサロン会に参加したら「1人ひと言必ず話をしよう」と小さいグループに分かれて自分紹介しています。新役員も加わり新しい風が吹き始めています。

II 毎月定例のパソコン教室

原則月に一度渡辺義郎さんによるパソコン教室が開催されパソコンスキルをあげる為に勉強しています。

III サロン会前の時間の活用に新しい事を始めました。

①パソコンお困り相談

「ピンポイントで教えて」のミニパソコン教室を開催。

今更聞けないけど「だけど教えて」として渡辺義郎さんにサロン会の前に教えて頂いています。毎回7～8名の会員が参加されています。

②「アフターロングステイ」と題して

これからの人生をより充実させ生きて行くために、ロングステイはするけれど老後をより良く生きてゆくために又これからの人生をより充実させ生きて行くために、「健康：生きがいつくり：医療：介護：老いじたく」などのお話し合いや情報交換を3月より開催致しました。11名の会員が参加され大変為になるお話が出て盛り上がりました。 以上

東海支部便り

支部長 No.843 土井 研一

秋も深まり、北の国から帰り、南の国へ出かける前の11月～12月は今年も多くの方が定例会に参加しました。

11月の定例会では15周年記念行事として外部

講師を呼んで、健康寿命を延ばし楽しく海外でロングステイするための「健康セミナー」と、アジア最後のフロンティアと呼ばれる「ミャンマーの紹介」を行いました。

オブザーバーもまじえ、補助机を追加するほどの盛況でした。



10月の定例会でミャンマー人の講師から熱心に話を聴く

12月の定例会は久しぶりに飯田市在住の村澤さん(オートバイでタイ一周をした人)を迎えて盛況でした。

11月に続き15周年記念行事として台湾・宜蘭市出身の呉 宛亭さんから台湾の衣食住、伝統文化、観光スポットなど若い女性の視点で紹介され、出席者からは体験談も交えて活発な質疑応答がありました。

お出かけ情報では1月から3月にかけてマレーシア、チェンマイ、台中、世界一周クルージングなどに出かける人が多く、情報交換するとともに楽しい話で盛り上がりました。

神谷さんからハワイロングステイの帰国報告があり、オアフ島、マウイ島、ハワイ島で楽しく滞在した話がありました。



11月の平日サロン会



1月のチェンマイで東海支部ミニサロン会

1月は多くの方が南の国へ出かけ、いつものように定例会はありませんでしたが2月には入会希望のオブザーバーも交えて、海外ロングステイの魅力について話し合い、支部をいかに魅力ある会にするかも真摯に話し合われました。

原則として毎月第3月曜日に開かれる平日サロン会では中華料理のバイキングを食べながら気楽に情報交換をしています。

1月から2月にかけてはチェンマイに出かける人が多く、チェンマイでは川地さんのお世話で東海支部のミニサロン会が開かれました。



2月のチェンマイで東海支部のミニサロン会

このようなサロン会を通じて、仲良く楽しく友達の輪が広がっていくのは、南国暮らしの会の魅力です。

3月には多くの方が台中に出かけ、5月11日(月)には豊田カントリーで春のゴルフ会が予定されています。

間もなく春が来ると、多くの方が南の国から帰ってきて、また一段とにぎやかになる事でしょう。

(チェンマイにて記す)

関西支部便り

支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主要な活動を紹介します。

○金沢カニツアーの開催

11月9日より1泊2日の金沢カニ旅行を楽しんできました。

当日は小雨模様の中、総勢28名自家用車組、電車組、バス組の3組に別れ能登半島かほく市にある「魚料理民宿やまじゅう」に集合いたしました。

宴会も半ば、尺八(平山さん)、第九合唱(徳永さん、山本さん、平山さん)、お姉様方によるフラダンスを披露いただき大いに宴が盛り上がりました。

翌日はゴルフ組15名、観光組13名に別れそれぞれ楽しまれたあと無事帰宅いたしました。



挨拶される支部長

○関西・九州支部交流会の開催

11月30日～12月1日 秋吉台国際芸術村にて関西支部17名、九州支部17名が参加。

お互いのかくし芸合戦に時のたつのも忘れ楽しみました。

詳細は別途報告されます。

○パソコン教室

11月26日(水)午後1時30分より17時まで、大阪市立生涯学習センターのメディア教室にて開催されました。

紹介された内容は、タブレット・スマートフォンの現状を踏まえ、格安スマホやSIMのベストな機種を選び方や購入方法をアドバイス頂きました。

後半はパソコンとの相性の良いAPPを紹介

いただき、マレーシアに滞在されている池田さんとスカイプを繋ぐ体験をしました。

池田さんありがとうございました。

○忘年会

12月13日(土)午前12時30分より約3時間にわたり、北新地「木曾路」で忘年会を開催、参加人数20名。

今回は新しい会員の方が多ことから出席者全員に自己紹介をお願いしました。

いつもながらの盛り上がり楽しく過ごしました。

九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

○北九州情報交換会

平成26年11月2日、北九州市生涯学習センターに於いて長崎、熊本、山口、そして地元福岡から総勢21名の会員が集まり、定例の情報交換会を開催いたしました。

持参したプロジェクターが壊れるというハプニングがありましたが、役員の方々の機転で新機種をすぐに購入してきてもらい、発表の前後繰り替えはありましたが、参加の皆さんのご協力で問題なく次の内容で進行することができました。

●ワイワイ談義

(全員の方からお話いただきました)

- ・海外渡航体験から滞在先のおすすめ度、特徴、過ごし方など
- ・会に入会した目的、期待すること、これからやりたいことなど
- ・趣味や特技等について

●アメリカドライブ旅行体験報告

581 朝永 清寿さん 651 穴見 保彦さん

- ・詳細はホームページ「じじばばの挑戦・アメリカ西部の30日」に掲載中

○平成27年新年サロン会

平成27年の活動は福岡での新年情報交換会からスタートしました。

年々参加できる方が少なくなっているようで少し寂しい新年会でした。

そんな中、ダバオから帰国されたばかりの1518番 恵 功様が、お疲れの中、わざわざ鹿児島から駆けつけてくださいました。

日 時 平成27年 1月12日(日)

場 所 福岡市・NPOボランティア交流センター「あすみん」セミナールーム

参加者 パソコン勉強会 9名 情報交換会 20名
懇親会 16名

●パソコン勉強会 10:00~12:00

IDとパスワードの意味と設定方法、freeml、マイページの作成、九州グループホームページの閲覧方法とデスクトップへアイコンの置き方等について学習。

●情報交換会 13:30~16:30

司会 1022 瀬崎 博さん

支部長挨拶、出席者紹介の後体験発表等を行いました。

- (1)ダバオ滞在記 ……1518 恵 功さん
- (2)コタキナバル旅行記 ……1602 片田 勉さん
- (3)ヨーロッパのクリスマス
……………1651 田中 栄一さん
- (4)ネパール訪問 …… 758 白井 征勝さん



●懇親会 17:00~19:00

情報交換会の後はいつもの「寿里庵」でさらに懇親を深めました。



ペナン支部便り

支部長 No.1546 渡邊 照夫

今回のペナン支部便りは、支部活動の内容を角度を変えて(実際に関わった詳細を)紹介し、ペナンならではの内容をお伝えしたいと思います。これにより、よりマレーシアに興味を持ち、且つペナンを好きになっていただけたら幸いなのですが。



まず、その活動を紹介しますと①『サロン会』があります。今年度(2014年度)は2か月に1度の割合で実施しています。サロン会は支部員の親睦や情報交換の場として、和気あいあいの食事会です。ペナンは食の宝庫そして美味しい店が沢山あるとガイドブックやその他で紹介されている様に、確かに住んでいる的外れではないと思います。役員の担当割にはサロン会を担当する役員を設け、その実施には、事前に予約(日時は勿論、値段交渉、人数、メニューを決めたりする)をしに行く。また、事前の試食を兼ねた情報をもとに店を決めていくことは常です。当地では中華系の料理が多くなるが、大勢で6~7種類ほどの料理を皆で食べる様は、サロン会担当者の苦労を一掃してくれる程、料理の数と美味しさで、皆さんから満足の言葉が溢れるサロン会となります。お値段は一人



当たりだいたい30RM(リングिट)と手ごろな、むしろ安いと感じるボリュームと味で納得のサロン会です。また、ビールは各自払いですが、他のアルコール類は持込み可のお店が多く、しかも氷はサービスでと云う処も多く、飲んべえにはたまらない店ばかりです。だから、毎回いろいろな店に出向き、継続しているのです。

②『BBQパーティー』について

年2回(8月、2月)に実施しています。支部員の住むコンドのプール際に有るバーベキューコーナーを借り、(当地では大概のコンドにはバーベキュー設備が完備されているのが普通です)支部員の参加は勿論のこと、会員の友人・知人をはじめとしてゲスト参加を募り、いつも総勢50名ほどの大人数で実施しています。

前日のサーロインステーキの肉の買い出し、焼きそば、焼きチキン、トウモロコシや、デザートのスィカ等、今では手慣れた買い出しと下拵えで、みなさんおいしいととても好評のBBQパーティーです。支部員はそれぞれ手分けして、その役割を理解し、お肉を焼いたり、焼きそばを作ったり、と忙しくゲストへの『おもてなし』に心がけます。

当ペナン支部で、ゲストさんが驚かれること感心されることは、これら、お肉や、焼きそば、焼きチキンの温かい食材を保温する器材があります。

よくホテルのバイキング等で食材を固形燃料で温める保温器があることです。しかも6台もあり、温かく、美味しく食べれる、なくてはならない調理機材として、その役割を發揮しているのです。

また、余興として、抽選会と称して、安いで



すが、機能的な、役立つ賞品を買い揃え、ゲストの方には、思いがけないプレゼントとして好評を得ています。役員をはじめとして実施に当たっては正直忙しく苦勞もありますが、支部員・ゲストとの親睦をはじめ、ペナン支部の存在や興味が伝われば幸いと考えているのです。

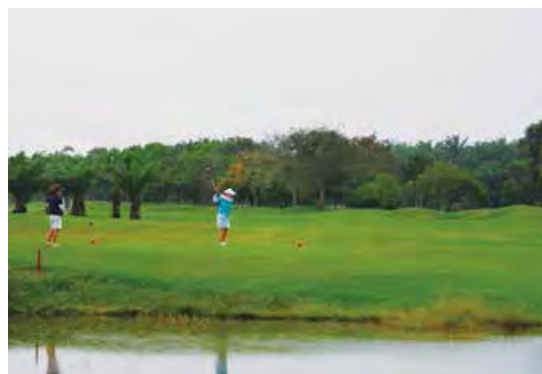
③『ペナン支部ゴルフコンペ』について

私自身、ゴルフは上手い下手は別としてとても好きなので、支部長就任後ぜひペナン支部のゴルフ好きの会員との支部主催のコンペをやりたいと願っていました。

今までに支部のコンペをやったことがあるかと尋ねたら、有るにはあつたが有志が集まって、コンペとまではいかないが実施したことはあるとのことだった。

正直、日本でも会社のゴルフコンペには参加したことはあるが、自分が幹事でコンペなどやったことはなかったが、会員の親睦、競技を通じてのエキサイティングな感動を得たいと、やってみたいと思いを募らせ、周囲の会員の手助けも得て実施した。

昨年12月の中旬にその時は来た。やるからには、ハンデ戦(新ペリアル方式)採用し、PCでの



ソフトを紹介してもらいながら競技制を高め、且つ、商品を用意し、同時に優勝・準優勝を当てる人券を試みました。これにより、当日は、過去に例のない異常気象で連日雨が降り続き、ゴルフコースはぬかるみ最悪の状態、当日も終日曇り、雨と最悪のゴルフコンペにとっては最悪の状況でした。

しかし、参加された方全員日頃の腕前を發揮しようと果敢にプレーしていただきました。結果を別の場所に移し、遅い昼食を食べながら表彰式を行いました。優勝者をはじめ参加者全員(11名)に賞品を渡し切り、皆さんの満足な笑顔を見たときやってよかったなと思いました。

また、次回へと繋げていけると感じ、安堵感を覚えました。(支部主催と云えど支部の費用は一切使用せず、当初からの考えで、受益者(参加者のみの)負担で賄えたことは良かったと考えます。)



④『ペナン支部 南の会ロゴ入りCAP、サンバイザーの作製・配布』について

『南の会15周年記念事業』より、ペナン支部は「南の会」のロゴ入りのCAPおよびサンバイザーを当地ペナンの刺繍屋さんを見つけ出し、作製・配布しました。作製には言葉のハン



デや刺繍やの技量等に難儀しながらも、目的を果たすことができ、最終的には、出来栄には満足しています。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

年中夏だと思われているダバオですが 日本ほど温度差はありませんが四季はあります。

12月～3月は冬、4月～5月は夏、それ以外は春または秋といったところでしょうか。

ただ春、秋と言っても日中は30度を超えますが…今は日本の寒さを逃れダバオで過ごされた会員の方々が日本にお帰りになられ 少し落ち着いた日々を過ごしています。



ダバオ近郊パラダイスビーチで乾杯

来訪者の方との交流は住んでいる者にとっても刺激になり海にご一緒したり日本のお話をお尋ねしたりまた解る範囲でご質問にお答えしたりアドバイスを差し上げたりしております。

私は住み始め7年目を迎えそこそこの知識はあるつもりですが特に主婦の方には逆にダバオのよさをいろいろ教えられ、特に食材探しに関しては非常に勉強になります。

今回は会員の方に“ステーキ”“おでん”“エビ蟹の煮たもの”(名前知らなくてすみません)などとてもおいしい食事をおよばれました。15cmもあるステーキがなんと1枚260円、とってもおいしいワインも450円、あったかい国での“おでん”も最高! ここのお肉は安いとかこの海藻はたった10ペソでこんなにあるんだとか。

円安で少し住みにくくなったと思っていました海外ロングステイもまだまだ魅力はいっぱい



180円のステーキ

あるんですね。お返しに魚に詳しい方をご紹介しミニ魚料理教室も開催しました。

日本でみなれない南国の魚を日本風に料理していただきました。ハタの煮つけ、剣さきイカのさしみなどお一人材料費190円で大満足の夕食でした。乾燥肌の方にとって対敵な日本の冬を逃れ適度に湿度のある南国ダバオで日本で味わえない暮らしを体験してみてもは。

明るく話し好きなフィリピンの方との交流など新たな人生の楽しみが発見できるかもわかりません。



お魚料理教室

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

今年は円安が響き、チェンマイを訪れる方が少ないのではとの予想を覆す、111名の多くの会員の方に訪問いただいています。2月10日のゴルフコンペも47名の参加頂きました。1月24日のサロン会も76名の参加、初めて訪れた方も



多く、チェンマイ生活を思いっきり楽しもうとの熱気を感じました。

一方で、今期で、帰国をされるロングステイの会員の方、準備に取りかかった方の声を聞くにつけ、2月10日に15周年記念事業を実施して、支部の在り方の模索と世代交代を改めて実感致しました。

チェンマイは未だに建設ラッシュで、物価もどんどん上がり、車の量も質も日々増して、観光都市として発展しているように感じています。一方で、軍事政権下、ビザの発給のバンコクでの一本化や、携帯電話での犯罪の増加に伴う、パスポート、住所の登録が実施されるなど、日々変化しています。情報に気をつけながら、楽しいチェンマイ生活を送られることを願っています。

●第8回チェンマイゴルフコンペ

関東甲信越 No.1336 森田 公之

今年もチェンマイでのゴルフコンペを2月12日開催しました。

男性37人、女性9人、全員で46人の参加でした。

10組と組数が多い為予約が取れず、朝6:30からのスタートとなりました。さすがに6:30は暗く、ボールが見えない状態でしたのでボー

クアラ Lumpur 支部便り

支部長 No.1682 守田 章



第8回チェンマイゴルフコンペ

ルが何とか見える6:40スタートでコンペを開催しました。

今回も中西さんからの帽子、ボールの提供と金井さん奥さんから女性陣全員への手作り小物の提供があり、ほとんどの方に何かしらの賞品を手にした結果となりました。(運の悪い方が数人いたみたいですが)

成績は新ペリア方式によるハンデのため、運の悪い方、良い方がはっきり出た大会となりました。

●第8回チェンマイゴルフコンペ結果

位	氏名	イン	アウト	グロス	ハンデ	ネット
優勝	鈴木 通弘	48	44	92	19.2	72.8
2	村瀬鉄太郎	56	48	104	31.2	72.8
3	橋本 忠司	44	41	85	12.0	73.0
4	光城 保之	46	45	91	18.0	73.0
5	平山 謙裕	46	43	89	15.6	73.4

ベスグロ 橋本 忠司

女性優勝 坂本 清子



優勝者の鈴木さんと坂本さん

今回はKL滞在者の関心事三題話をお送りします。①ガソリン価格、②為替、③GST。

KLに滞在する年金生活者を悩ませているものは物価の上昇です。過去4年間で10%も上昇しました。KLでの実感はもっと大きいように思います。お店のメニューが価格改定に追いつかず上から紙を貼って繕っているのを見ると、高度成長期の日本を思い出します。最近この傾向に少し変化が見えてきました。

その一つはガソリン価格の値下がりです。ガソリンは政府統制価格で補助金を拠出して価格を安定させてきましたが、財政健全化政策に基づき補助金額を減らしてきた結果2013年にRM1.9/Lであったものが2014年末にはRM2.3/Lまで上昇し、物価押上げの要因となっていました。それが年明け1月に突然RM1.91/Lに値下げ、更に2月にはRM1.7/Lまで下落し有難い新年のお年玉になりました。また、電気料金も4カ月限定ではあるものの3月から5.8%の値下げが発表され物価のウナギ登りも一心地付いた感じでした。値下げの理由は原油価格の下落にありますので今後の動向が気になるところです。

マレーシアは資源輸出国で、石油製品、LNG、パームオイルが主な輸出産品です。原油価格が下がればこれら輸出品の価格も低下し貿易収支の悪化をもたらします。結果、為替安となります。日本からの年金に生活費を頼っている長期滞在者にとって為替の変動は最大の関心事です。所謂アベノミクスによる2012年からの円安



市中の両替屋の店頭

基調は生活レベルの見直しに直結しました。為替レートはRM40/JPY1000からRM30/JPY1000と物価上昇の比ではありません。住まいの借り換え、日本帰国の抑制など出費を抑えて凌いでいます。しかし昨年10月から原油安に起因してRM安になってきました。為替レートはRM31/JPY1000前後と上昇に転じているため一安心。滞在者の間での為替の話題も少なくなっています。

最近の話題の中心は4月からの物品・サービス税(GST)の導入です。日本の消費税と似たもので税率は6%です。これまでも売上税・サービス税がありましたが、これらを統合しGSTになります。結果として値上がりするもの、値下がりするもの、変わらないものが出てくることになりました。電気製品で言えばTV、冷蔵庫は値下がり、PC、スマホは値上がりになります。GST導入前に何を買うか、何は買い控えるのか滞在者の間では情報交換が盛んに行われています。

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 齋木 一

バギオ地区について特筆すべき事はバギオの日本人会「北ルソン日本人会」が極めて活動的な日本人会であるということです。南の会の友好団体にもなっていて、過去には一緒にフラワーパレードにも何回か参加しました。今年も2月28日、3月1日にパレードが行われました。

パレードの規模は年々拡大し、最近では2日間で百万人の観衆を集めると言われるほどになっています。在住の日本人達は大渋滞を敬遠して自宅のTVでパレード楽しんでます。

先般、バギオに約10年近く定住していた元会員が病気で亡くなられた時にも遺族に代わって北ルソン日本人会が発病・入院から転院、亡くなられたあとの通夜・葬儀・偲ぶ会全てを執り行いました。ご遺骨の日本帰国も日本人会の手配でした。

バギオでのLSはこの日本人会と日系人会の

存在なくしては語れません。

最近パンガシナンでも日本人会結成の動きがあります。

実現を楽しみにしています。

ハワイ支部便り

支部長 No.1016 村林 修次

ALOHA

ハワイ観光のガイドブックやパンフレットのイメージ写真にはダイヤモンド・ヘッドを背景にワイキキビーチが長年月変わらず使われていますが、ワイキキの街は大変様変わりをしています。

ワイキキの中心街の象徴でもあった「インター・ナショナル・マーケット」が2013年末閉鎖され、2014年はマーケットだけでなく「ミラマーホテル」も解体され、カラカウ通りからクヒオ通りまで見える大きな広い工事現場が出現して、工事関係車の出入りで人も車も時々規制されます。

又、クヒオ通りには「リッツ・カールトンホテル」が建設中で既に14階まで立ち上がっていますがここでも工事関係車両の出入りでバス停も無くなり、とても観光地の景色とは一変しています。

さて今年のハワイ支部の活動は会員の皆さんが大勢集まる6月が中心になると思います。

第6回目を迎えるゴルフコンペや「南の会15周年記念事業」の一環としてイルカ大学体験入学など開催したいと思っています。

他にも「バニアン会」との合同でPot Luck Partyやウクレレ教室など催しますので、是非6月にお出掛けください。

*「バニアン会」2001年6月に発足したGroup。毎年6月に集まる仲間でゴルフ、ウクレレ、フラ、スケッチ、食事会などで情報交換と交流を図るコミュニティ・サークル。この数年は「南の会」と合同で活動しています。

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

- ◆平成26年度第3回理事会、11月22日(土)実施
 1. 予算進捗報告と来期予算作成依頼
 2. 15周年記念行事について
 3. ロングステイフェア(11/29)出展について
 4. その他
- ◆平成26年度第4回理事会、3月14日(土)実施
 1. 今期事業報告と来期事業計画(案)
 2. 来期予算案説明
 3. 来期役員体制について
 4. その他
- ◇次回以降の理事会予定 4/11(土)、5/18(土)
- ◇監査予定 4/11(土)
- ◇役員・支部長会議予定 5/30(土)
- ◇平成26年度(17期)総会予定 5/31(日)

広 報 部 会

担当理事 No.513 青木 方子

イカロス出版より「フィリピン ロングステイ」最新版を2015年5月発行予定にあたり、現地のロングステイに関する体験談及び現地の情報を掲載したいとの連絡があり、現地の会員に協力の依頼のお願いをした。

〈HP担当 No.996 歌田 晃〉

・ホームページ

鮮度を落とさないように素早く掲載することを目標に何と23万アクセスを突破!

HPを見られて新規入会される方やサロン会、開催情報を得て直接会場に来られるゲストもあり、益々HPの効果を感じています。

南 国 暮 ら し の 会 支 部 一 覧

2015年5月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	498	氏家 孝	takashiujiie3322@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1118	肥後 憲尚	higoyoshi@hotmail.co.jp
東海支部	843	土井 研一	doi@rr.ij4u.or.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	581	朝永 清寿	ktomo581@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	-		
ペナン支部	1546	渡邊 照夫	ftxqj863@ybb.ne.jp
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.nkym@gmail.com
セブ支部	1124	田上 篤	3159atsushi@gmail.com
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1016	村林 修次	mura-sakytakyj@d4.dion.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

友好団体紹介コーナー

★一般財団法人ロングステイ財団
<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会 (CLLクラブ)
<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ (WSC)
<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL
(クアラルンプール) 日本人会
<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会 (JANL)
<http://janl.exblog.jp>

編 集 後 記

この春号はLS希望地8年連続1位のマレーシア特集としました。

マレーシアと言えば1年を通じて温暖な気候、公共交通機関を含め生活や観光インフラが整備され物価も安く治安も良いそして何よりも親日的な事でしょうか。

しかし最近の新聞を見るとネガティブで元気のない話を良く見かけます。

石油の価格が昨夏の半値以下となり純資源輸出国のマレーシアの通貨、株価が下降気味で今年の経済成長見通しも下方修正したそうです。

なんとといってもペトロナスグループからの税金や配当収入が国の収入の3割を占めるそうですから大変な事になってるんでしょう。

そこで今のマレーシアがどうなっているのか見てみたいと思い2年振りにKLを訪ねてみました。

まず驚いたのは新設されたLCCターミナルの大きさと豪華さ、増設されたKLセントラル駅の華麗さと利便性、そしてミッドバレー等のモールの巨大さと賑わい。まるでお祭りの様な人だかり。日本食屋の前には行列が出来ていました。

さすがアシアンの経済優等生だと感心し心配は吹き飛んでしまいました。

しかし見かけはそうでも住んでいる人にとっては切実な違う面があるんですね。

物価も上がり以前より住みづらくなっていると聞き、そういえばイポーに住んでるマレー人

の友人も4月から上がる税に不満を漏らししきりに国を批判していました。やはり住んでみてそれから話をしろという事なんでしょう。

もう一つ驚いた事は支部の皆様の元気な事ただ今人生真っ盛りの気概で人生を謳歌している様子に圧倒されました。

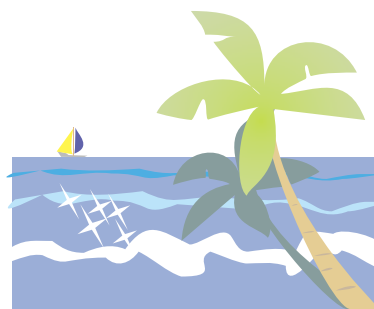
皆様と楽しい食事をしながら色々な話を聞いていると異国の地でLSをするという事は苦労もあるのでしょうか新鮮で日本では味わえない充実感を得ているのだらうと改めてLSの効用を考えさせられ羨ましく思いました。

帰国の日これから度々利用するであろう(是非そうしたい)あの豪華な空港ターミナルを時間をかけて隅から隅まで探索しカフェでゆっくりこの旅を振り返りました。

ホワイトコーヒーを啜りながらこのマレーシアがLSを目指す者にとって憧れの地であり続けて欲しいと願いながら日付の変わった時刻に帰国の途につきました。

編集委員

No.1309 青木 一義、No.1208 澁谷 幸一



「南国暮らしの会」から `自己責任の徹底!`

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係 (住所変更など) kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係 (会費、名刺ロゴマークなど) keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1108	山田美弥子
No. 513	青木 方子	No.1208	澁谷 幸一
No.1578	山本 雅巳	No.1581	黒川 敏彦

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人 (NPO法人)

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



ロングステイフェア2014



チェンマイ支部 15周年記念行事での昼食会



ダバオ支部 新年会



関西支部 北陸親善旅行



北海道支部 サロン会風景